



高知県嶺北地域 公共交通網形成計画

2019年3月

高知県、本山町、大豊町、土佐町、大川村
(嶺北地域公共交通協議会)



－ 目 次 －

1. 計画の概要.....	1
1.1 計画の目的.....	1
1.2 対象地域.....	1
1.3 本計画の位置づけ.....	2
1.4 計画期間.....	2
2. 嶺北地域の概況.....	3
3. 嶺北地域の公共交通の概況.....	6
4. 上位・関連計画の整理.....	8
4.1 上位・関連計画の整理（まとめ）.....	9
5. 各種調査の結果.....	13
5.1 アンケート調査.....	13
5.2 乗降調査.....	13
5.3 地域別意見交換会.....	13
5.4 嶺北高校の高校生との意見交換会.....	13
5.5 団体別意見交換会.....	13
5.6 調査結果のまとめ.....	14
6. 嶺北地域の課題や要望.....	16
6.1 嶺北地域内を円滑に移動する手段が“不足”.....	16
6.2 嶺北地域から高知方面への利用者のニーズに即した移動手段が“不足”.....	17
6.3 公共交通サービスに関する情報提供が“不足”.....	18
7. 計画の基本方針と計画目標.....	19
7.1 基本方針.....	19
7.2 計画目標.....	20
8. 実施事業.....	24
8.1 計画目標を達成するための主要施策.....	27
8.2 主要事業を支える補助施策.....	29
9. 計画の達成状況の評価.....	40
9.1 計画目標と評価指標の設定.....	40
9.2 PDCA サイクルによる計画の継続的な改善.....	41
巻末資料.....	42
高知県嶺北地域公共交通協議会 委員名簿.....	42
計画策定経過の概要.....	43

1. 計画の概要

1.1 計画の目的

高知県北部に位置する嶺北4町村（本山町、大豊町、土佐町、大川村）においては、広域のかつ幹線的な公共交通として、大豊町を縦断する鉄道（JR土讃線）や、とさでん交通が運行する高知市への長距離路線バス田井線（高知市～南国市～香美市～大豊町～本山町～土佐町）、嶺北観光自動車が運行する土佐町を拠点とする本山町または大川村からいの町までの路線等がある。

一方、支線的な公共交通・移動手段としては、町村ごとのスクールバスや、大豊町による無償町民バス・乗合タクシー、大川村による福祉バス等が運行されており、大川村以外ではタクシー会社が営業している。また、本山町では、平成31年（2019年）1月からコミュニティバスの実証実験が開始され、大川村では平成31年（2019年）1月から貨客混載の実証実験が開始された。

嶺北地域は高知県の中でも特に人口減少・高齢化が著しく進行している地域であるものの、地域住民の日常生活を支える移動手段としては、主に自家用車が利用されており、公共交通があまり利用されていない。公共交通は、本来、地域の活力を支えるための重要な社会インフラであるにもかかわらず、嶺北地域においては利用者が減少しており、公共交通サービスを維持していくことが困難な状況になっている。

そこで、鉄道や路線バス等の広域のかつ幹線的な公共交通及びそれに接続する支線的な公共交通・移動手段について、関係機関が連携・協働した取組みを実施することにより、持続可能な公共交通ネットワークを確立することを目的として、本計画を策定する。

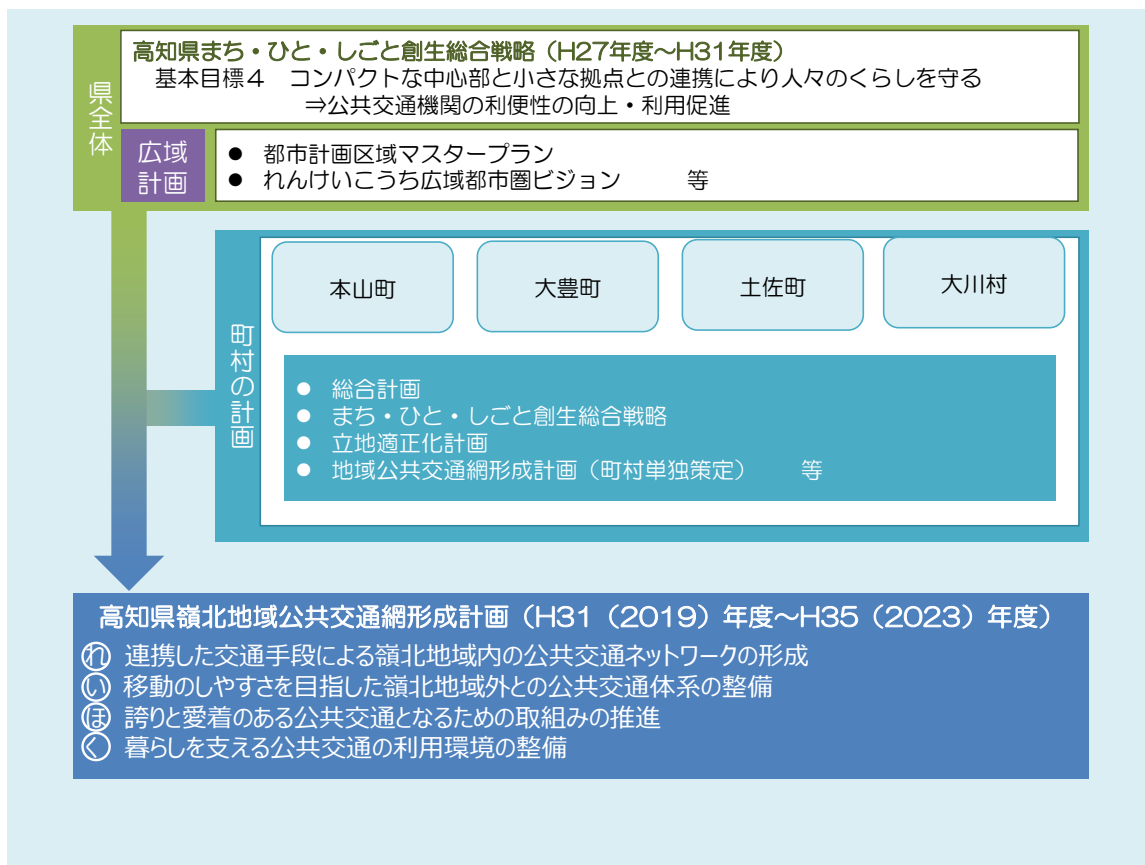
1.2 対象地域

本計画の対象地域は、下図に示す嶺北地域4町村（本山町、大豊町、土佐町、大川村）を対象とする。



1.3 本計画の位置づけ

本計画は高知県の全体計画である「高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略」や各町村の総合計画等と整合を図り、嶺北地域内の公共交通ネットワークを構築するためのマスタープランとして位置づける。



1.4 計画期間

平成 31 年 (2019 年) 4 月から平成 36 年 (2024 年) 3 月までの 5 年間を計画期間とする。

2. 嶺北地域の概況

嶺北地域の概況を示す。

(詳細については、資料編 1 ページから 32 ページに記載)

■人口・世帯

- ・嶺北地域は、高知県内でも人口減少・高齢化の進行が顕著である。総人口のみならず高齢者も減少しており、概ね 30 年後の 2045 年には総人口が半減する見込みである。
- ・人口は、鉄道やバス路線沿線に多く分布しているものの、バス路線から離れた地域にも分布がみられる。また、高齢者率は全域で高い状況にある。
- ・将来の人口は、分布している地域に大きな変化はないものの、各地域で人口が減少し、より低密度な状況になると見込まれている。
- ・現在は、幹線バス路線沿線の人口が多いものの、将来は沿線の内外を問わず人口が減少する見込みである。
- ・人口と同様に、世帯数や世帯人員も減少している。また、県全体の傾向として高齢者のいる世帯や高齢単身世帯の割合が増えており、嶺北地域では、その傾向が顕著である。

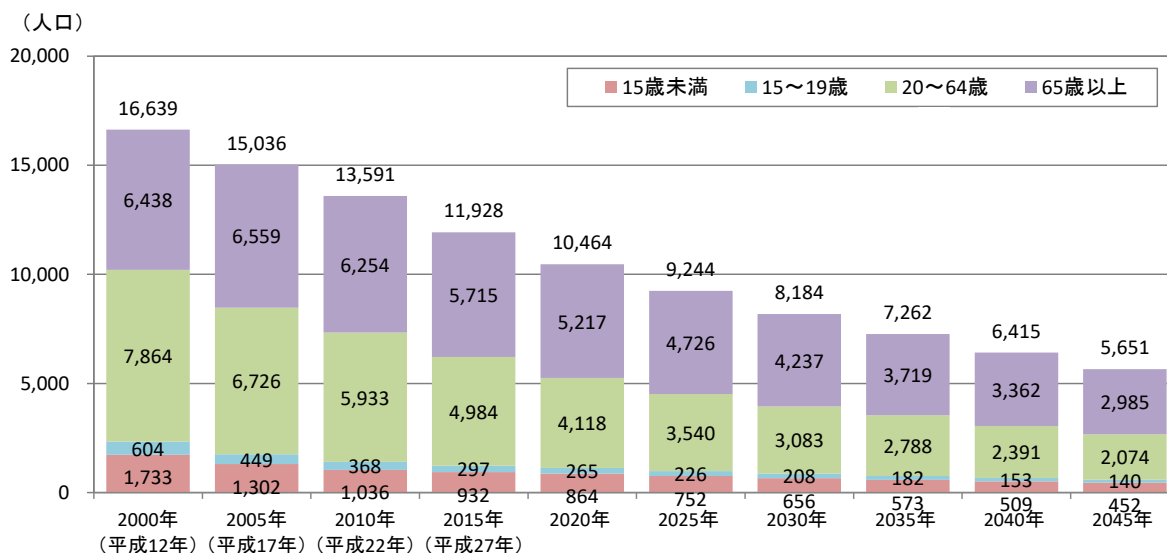


図 2-1 嶺北地域の人口の推移

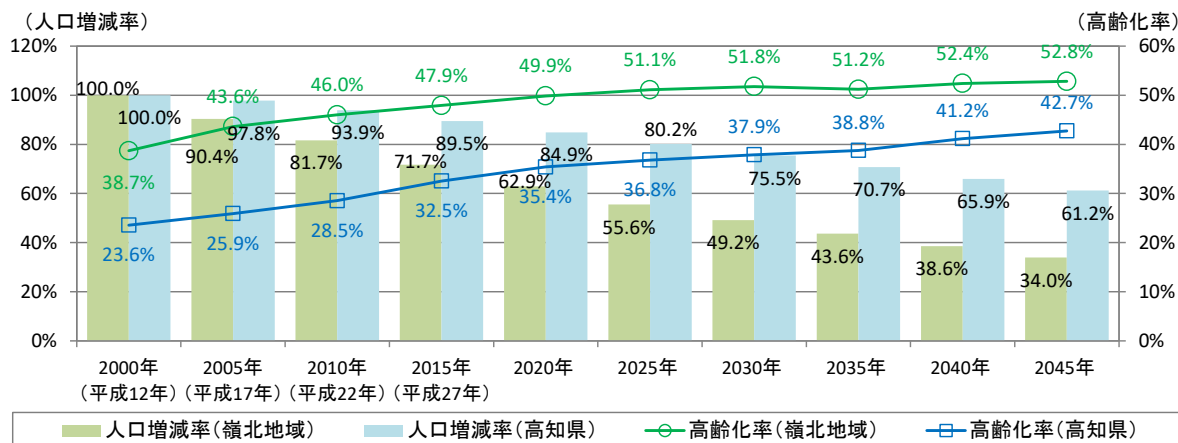


図 2-2 人口増減率、高齢化率の推移

資料：国勢調査（2015 年以前）、国立社会保障・人口問題研究所の平成 27 年基準推計人口（2020 年以降）

■主要施設

- ・主要施設は、鉄道及びバス路線沿線に、各町村ともある程度まとまって立地しているが、観光拠点のみバス路線沿線等から離れた施設も点在している。

■通勤・通学

- ・15歳以上の通勤・通学者の利用交通手段は、自家用車が8割近くを占めており、公共交通機関の利用率は低い。
- ・全域で自家用車の利用率が高く、鉄道やバスの利用が多い地域は、鉄道やバス路線に近い一部の地域に限られている。
- ・嶺北地域からの通勤・通学流動は、地域内の流動ほか、高知市や南国市への流動も多く、特に、JR土讃線や高知自動車道及び国道32号等に近い、大豊町や本山町からの流動が多い。
- ・嶺北地域内の従業者は、総人口の分布と同様の傾向にあり、特に従業者のみが多い地域は見られない。

■移動環境

- ・高知県内の人口・世帯当たりの自動車保有台数、運転免許保有率は増加傾向にある。特に、高齢者の運転免許保有率の上昇が顕著であり、高齢運転者の割合が増えている状況にある。
- ・高知県内の交通事故件数及び交通事故死者数は減少傾向にあるが、死者数の約6割を高齢者が占めており、全国の中でもその割合が高い。一方で、死亡事故に占める高齢運転者の割合は全国に比べて低い。
- ・高齢者の移動に関する全国的な調査では、年齢が上がるほど、また、単身世帯ほど外出頻度が低い一方で、外出の際は公共交通への依存度が高くなるという結果が出ている。外出頻度を確保することは高齢者の健康面でも重要であるという調査もあり、高齢者の外出手段の確保が必要とされている。

■観光

- ・高知県の県外観光客数は増加傾向にあり、嶺北地域の主要観光施設の利用者数も増加している。
- ・県外観光客数の利用交通手段の6割が乗用車、2割が観光バスであり、公共交通機関の利用は少ない。

■その他

- ・嶺北地域内での高規格道路の整備予定はないが、高知東部自動車道など他の地域における整備により、高知龍馬空港をはじめとした県内各地へのアクセスの向上が見込まれる。
- ・嶺北地域での高等学校の統廃合の計画はないが、県立高等学校再編振興計画（平成26年10月）により今後の維持のための目標等が示されている。

3. 嶺北地域の公共交通の概況

嶺北地域においては、広域的かつ幹線的な公共交通として、大豊町を縦断する鉄道（JR土讃線）や、とさでん交通が運行する高知市への長距離路線バス田井線（高知市～南国市～香美市～大豊町～本山町～土佐町）、嶺北観光自動車が運行する土佐町を拠点とする本山町または大川村からいの町までの路線等がある。

一方、支線的な公共交通・移動手段としては、町村ごとのスクールバスや、大豊町による無償町民バス・乗合タクシー、大川村による福祉バス等が運行されており、大川村以外ではタクシー会社が営業している。また、本山町では、平成31年（2019年）1月からコミュニティバスの実証実験が開始され、大川村では平成31年（2019年）1月から貨客混載の実証実験が開始された。

（詳細については、資料編33ページから38ページに記載）

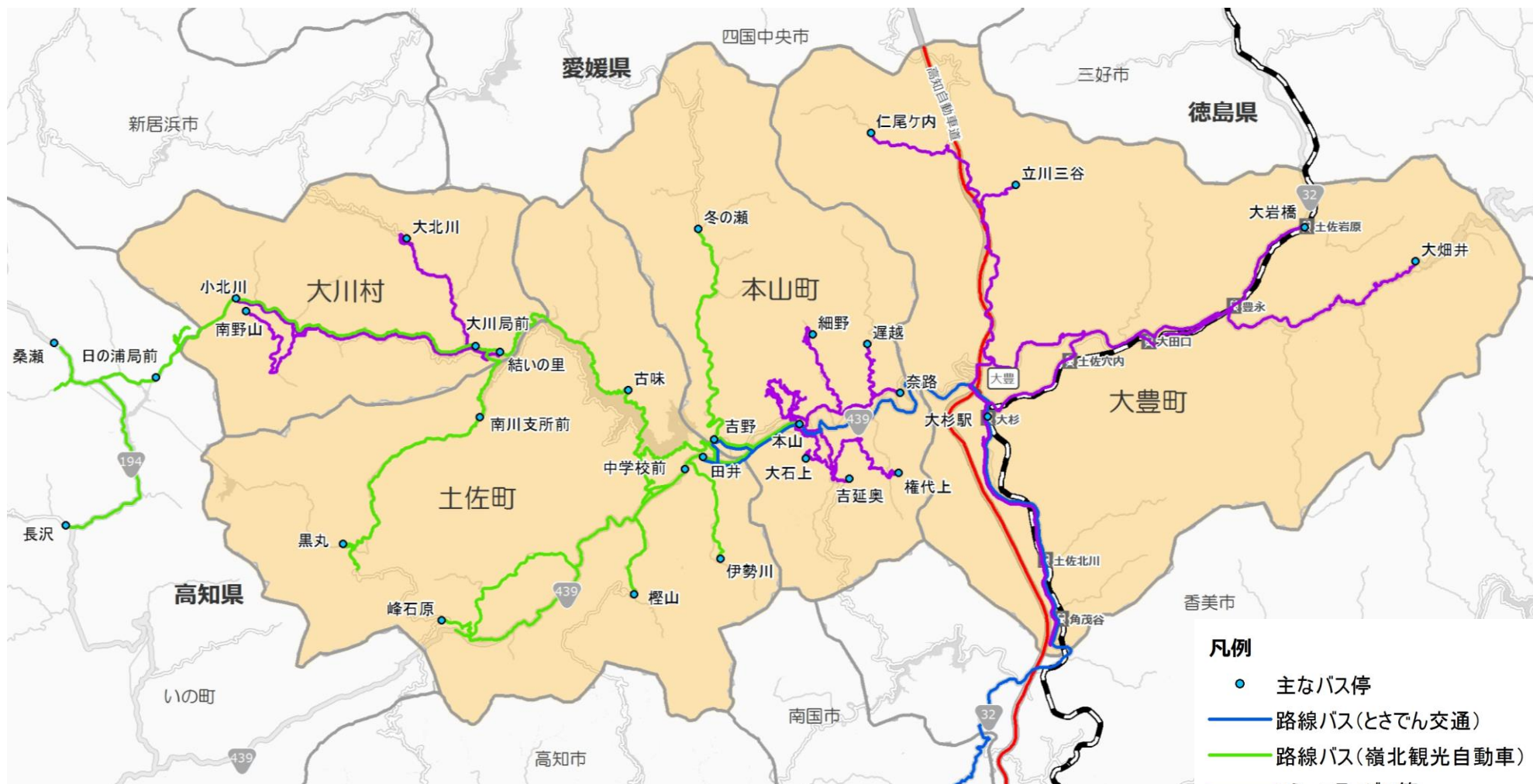


図 3-1 公共交通ネットワークの状況

- 凡例**
- 主なバス停
 - 路線バス(とさでん交通)
 - 路線バス(嶺北観光自動車)
 - コミュニティバス等
 - 高速バス
 - JR
 - 駅名

4. 上位・関連計画の整理

本計画の策定に当たり、高知県の各種上位・関連計画や各町村の計画から、本計画に関する記述を抜粋し、まちづくりの方向性や公共交通の機能・役割等を整理する。

整理した計画は、以下のとおりである。

(詳細については、資料編 39 ページから 66 ページに記載)

表 4-1 上位・関連計画

区分		計画名	策定主体
高知県全体に関する計画		れんけいこうち広域都市圏ビジョン	高知市
		高知県過疎地域自立促進計画	高知県
		高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略	高知県
		第3期高知県産業振興計画	高知県
		高知県地球温暖化対策実行計画（区域施策編）	高知県
地域全体に関する計画		中央圏域都市計画区域マスタープラン	高知県
各町村の計画	本山町	第6次本山町振興計画	本山町
		本山町過疎地域自立促進計画	本山町
		本山町ひと・しごと・まち創生総合戦略	本山町
	大豊町	第7次大豊町総合計画	大豊町
		大豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略	大豊町
	土佐町	土佐町まち・ひと・しごと創生総合戦略	土佐町
	大川村	大川村振興計画後期基本計画	大川村
		大川村まち・ひと・しごと創生総合戦略	大川村

4.1 上位・関連計画の整理（まとめ）

4.1.1 まちづくりの方向性及び公共交通の機能・役割

1) 上位・関連計画におけるまちづくりや公共交通に関する主な記載内容

上位・関連計画における高知県全体、嶺北地域、各町村のまちづくり、公共交通に関する主な記載内容を以下に整理する。

表 4-2 上位・関連計画における主な記載内容(1)

上位関連計画		まちづくりに関する主な記載内容	公共交通に関する主な記載内容
高知県	れんけいこうち 広域都市圏ビジョン	・「経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積・強化」、「生活関連機能サービスの向上」を基本方針としており、戦略的な観光施策（広域観光、インバウンド観光）、高度な中心拠点の整備、道路等の交通インフラの整備・維持などに取り組むとしている。	・広域的公共交通網の構築、地域公共交通網の構築に取り組むとしている。
	過疎地域自立促進計画	・「経済の活性化」、「インフラの充実」、「教育の充実と子育て支援」、「地域の防犯・防災の基礎づくり」、「日本一の健康長寿県づくり」を基本政策としており、全国に通用する観光地づくり、集落における移動手段の確保、集落活動センターなどの小さな拠点とネットワーク化、交流人口の拡大などに取り組むとしている。	・住民生活に密着した公共交通機関の維持とその利便性の向上を図るため、情報通信技術を利用した交通システムの整備に取り組むとしており、具体的な事業として、自治体やバス事業者に対する補助等を位置づけている。
	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	・「地産外商により安定した雇用を創出する」、「新しい人の流れをつくる」、「コンパクトな中心部と小さな拠点との連携により人々の暮らしを守る」などを基本目標としており、観光面における交通の利便性向上や国際観光等の受入態勢の充実、小さな拠点（集落活動センターやあったかふれあいセンター）の整備と移動手段の確保対策、都市のコンパクト化と公共交通ネットワーク形成などに取り組むとしている。	・県内の公共交通機関に対する共通のサービス基盤の整備・強化（バスロケーションシステムの導入促進、交通系 IC カード利用エリア拡大促進等）に取り組むとしている。
	第3期 高知県産業振興計画	・観光分野の成長戦略として、核となる観光地づくりの推進（本山アウトドアの里）、観光サポートアプリの活用（利用者の移動利便性の向上）、受入環境整備（バリアフリー観光の推進等）、高松空港からのアクセスの向上、広域周遊観光の推進などを位置づけている。 ・地域別アクションプランでは、嶺北地域の連携による交流人口の拡大、嶺北広域観光アウトドアの里づくり、嶺北地域における山岳観光の拠点整備などに取り組むとしている。	・観光分野の成長戦略として、おもてなしタクシーの拡大、高松空港からの高速バス等の運行などを位置づけている。
	地球温暖化対策実行計画 （区域施策編）	・「こうちの自然や資源を活かし、豊かに暮らす低炭素社会」を目指すべき将来像としており、多極ネットワーク型のコンパクトなまちづくりを進めるとしている。	・公共交通に関する広報・啓発活動、パーク・アンド・ライドの啓発、エコ通勤ウィーク、IC カード「ですか」の利用拡大、バスロケーションシステムの利用拡大などを位置づけている。
嶺北 地域	中央圏域都市計画区域 マスタープラン	・「ネットワークによる多極連携型まちづくり」、「安全・安心で住みやすいまちづくり」、「地域の資産を活かしたまちづくり」を基本方針としており、まちづくりの方向性として、都市機能の適正な配置、広域道路網の整備促進、交流人口の増加と移住・常住人口の定着などを掲げている。	・鉄道駅とバスの交通結節機能の強化、鉄道・バス輸送の利便性向上、公共交通のバリアフリー化に取り組むとしている。

表 4-3 上位・関連計画における主な記載内容(2)

上位関連計画		まちづくりに関する主な記載内容	公共交通に関する主な記載内容
本山町	第6次本山町振興計画	・広域連携による交流人口の拡大、観光客の受入体制確立、道路整備の推進（国道の未整備区間、県道の交通車両大型化への対応等）などに取り組むとしている。	・利用しやすい公共交通の調査・検討、既存バス路線の利用促進に取り組むとしている。
	本山町過疎地域自立促進計画	・近隣町村と連携した「アウトドアの里づくり」、道路整備の推進（国道の未整備区間、県道の交通車両大型化への対応等）、通院時等の交通手段の確保、集落における「小さな拠点」づくりや移動手段・買い物手段の確保などに取り組むとしている。	・利用しやすい公共交通の調査・検討、既存バス路線の利用促進に取り組むとしている。
	本山町ひと・しごと・まち創生総合戦略	・「人の誘致で人口減少に歯止めをかける」、「集落の活力づくりとまちの拠点機能の充実で持続可能な地域をつくる」などを基本目標としており、「アウトドアの里づくり」拠点事業による交流人口の拡大、「小さな拠点」と連携したネットワーク構築（移動手段の確保、高齢者の買い物支援、観光・交流人口受け入れ等）などに取り組むとしている。	-
大豊町	第7次大豊町総合計画	・交流拠点の整備、高齢者等の交通弱者の移動手段や外出機会への支援、道路網の整備などに取り組むとしている。	・乗合タクシー制度・通院タクシー制度の充実などに取り組むとしている。
	大豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略	・「新しい人の流れをつくり定住につなげる」、「いつまでも暮らせる元気な集落を再生し地域の暮らしを守る」などを基本目標としており、交流拠点の整備、高齢者等の交通弱者の移動手段や外出機会への支援などに取り組むとしている。	・乗合タクシー制度・通院タクシー制度の充実などに取り組むとしている。
土佐町	土佐町まち・ひと・しごと創生総合戦略	・「地域資源を活かした魅力あるまちの創造」、「安心して住み続けることのできるまちの創造」などを基本目標としており、嶺北地域の他町村等と連携した観光推進体制の強化、高齢者支援の充実、広域連携による産業・地域の活性化の促進などに取り組むとしている。	-
大川村	大川村振興計画後期基本計画	・村内道路網の整備、交流人口の拡大、通院手段の充実、バリアフリー化の推進などに取り組むとしている。	・福祉バスの運行拡大、貨客混載型の交通輸送サービスの実施の検討などに取り組むとしている。
	大川村まち・ひと・しごと創生総合戦略	・「村への新しい人の流れをつくる」、「集落再生の仕組みづくりにより村民の暮らしを守る」などを基本目標としており、いの町との連携による山岳観光の振興、嶺北4町村の連携による地域観光の活性化、県道の整備要望などに取り組むとしている。	・福祉バスの運行拡大(村外運行、予約時間や乗車場所等の拡大等)、観光等にも利用可能な村内循環バスとしての運用可能性の検討、路線バスの採算性のある効率的な運行の仕組みづくりの検討などに取り組むとしている。

2) まちづくりの方向性及び公共交通の機能・役割

上位・関連計画の主な記載内容から、まちづくりの方向性及び求められる公共交通の機能・役割を整理する。

また、上位・関連計画で位置付けられている公共交通に関する施策の方向性を整理する。

■まちづくりの方向性

○ネットワークによる多極連携型のまちづくり

- ⇒都市機能の集約と適正配置
- ⇒拠点間を結ぶネットワークの形成
 - ・広域道路網の整備
 - ・総合的かつ効果的な交通体系の構築
- ⇒公共公益施設の複合化・集約化、再配置
- ⇒集落における小さな拠点の整備とネットワーク化

○交流人口の増加と人口の定着

- ⇒観光の振興（広域観光の推進、観光拠点の強化、外国人を含む受入態勢の強化等）
 - ※アウトドアの里づくり、山岳観光の振興
- ⇒移住・定住の促進（通勤・通学の支援等）
- ⇒小さな拠点を核とした、交通弱者の移動手段・買い物手段等の確保

○地球温暖化対策としての公共交通の利用促進



■求められる公共交通の機能・役割

○拠点（都市機能が集約した拠点、小さな拠点）を効果的に結ぶ公共交通ネットワーク

○地域住民の通勤・通学手段

○交通弱者の通院、買い物といった日常生活の移動手段

○交流人口の増加（住民等の広域的な移動手段、観光客も利用しやすい移動手段）

■公共交通に関する施策の方向性

- ・既存の公共交通（鉄道、路線バス）の維持（経済的支援、利用促進）
- ・地域の実情に応じた公共交通ネットワークの形成
（乗合タクシー・通院タクシー制度、福祉バスの運行拡大、貨客混載型の移動手段）
- ・バリアフリー環境の整備
- ・観光面での公共交通の活用、観光客の受入態勢の整備

4.1.2 上位・関連計画における拠点・軸の設定

上位・関連計画において位置付けられている、拠点・軸は以下のとおりである。

■拠点・ゾーン

拠点	役割
地域拠点	本山町・土佐町（本山町：役場周辺、土佐町：田井地区を含めた区域）
生活拠点	大豊町、大川村、土佐町中心部（町役場周辺の区域）
交流拠点 ＜公園＞	地区公園以上の都市公園など 本山町：帰全山公園
交流拠点 ＜歴史・文化＞	歴史・文化建造物のあるまちなみ 豊楽寺『国宝薬師堂』（大豊町）
交流拠点 ＜その他＞	道の駅など 大杉（大豊町）、本山さくら市（本山町）、土佐さめうら（土佐町） 主なエリア ゆとりすとパークおおとよ、早明浦ダム（嶺北周辺）
小さな拠点	地域の支え合いや活性化の拠点 集落活動センター 小規模で多機能な高知型福祉の支援拠点 あったかふれあいセンター
自然交流ゾーン	自然公園区域 白髪山県立自然公園、梶ヶ森県立自然公園、 工石山陣ヶ森県立自然公園

■軸

軸	役割
広域連携軸	<ul style="list-style-type: none"> 道路網 高知自動車道、国道 32 号 公共交通網 JR 土讃線、とさでん交通バス
圏域連携軸	<ul style="list-style-type: none"> 道路網（国道） 国道 439 号 道路網（主要地方道） 県道川之江大豊線、県道高知伊予三島線、県道高知本山線、 県道本川大杉線
地域連携軸	<ul style="list-style-type: none"> 道路網（一般県道など） 県道大川土佐線

5. 各種調査の結果

網形成計画の策定に向け、次の各種調査を行った。

5.1 アンケート調査

(詳細については、資料編 67 ページから 108 ページに記載)

(1) 高齢者アンケート調査

〈対象〉嶺北地域に在住の 65 歳以上の高齢者

(2) 若年層の保護者アンケート調査

〈対象〉嶺北地域に在住の若年層 (15 歳～18 歳) の保護者

(3) 来訪者アンケート調査

〈対象〉高知県外居住者のうち、過去 1 年以内に嶺北地域に来訪し、かつ公共交通機関を利用して高知県内に訪れた方

(4) 自治体アンケート調査

〈対象〉嶺北地域の各町村

5.2 乗降調査

嶺北観光自動車及びとさでん交通田井線を対象として乗降調査を実施した。

(詳細については、資料編 109 ページから 110 ページに記載)

5.3 地域別意見交換会

町村別に住民の代表者を集め、地域公共交通に関する意見交換会を実施した。

(詳細については、資料編 111 ページから 114 ページに記載に記載)

5.4 嶺北高校の高校生との意見交換会

嶺北高校の高校生と地域公共交通に関する意見交換会を実施した。

(詳細については、資料編 115 ページに記載)

5.5 団体別意見交換会

社会福祉機関、商工機関、観光機関の各委員と意見交換会を実施した。

(詳細については、資料編 116 ページに記載)

5.6 調査結果のまとめ

各種調査結果のまとめを示す。

【地域特性・交通特性】

- ・高齢者:人口増加、高知県内の他地域と比較し高い高齢化率
(高知県:約33%、嶺北地域:約48%、H27 国勢調査)
- ・高校生:人口減少、地域外への通学者が多い
- ・通勤:高知市への就業者は約300人
- ・バス利用:減少傾向(高知県全域)
- ・鉄道利用:土讃線(阿波池田～土佐山田間)の平均通過人員はJR四国の他の区間と比較しても低い
- ・計画:本山町では地域公共交通網形成計画を策定中

【高齢者アンケート】

- ・属性:約6割が75歳以上の後期高齢者、約3割が一人暮らし
- ・運転頻度:6割は日常的に運転しているものの、地域外への運転に自信がない人が約3割
- ・外出の目的・移動手段:目的は買い物最も多く、次いで通院が多い
移動手段は自家用車が多いが、通院・買い物はバスの利用者もみられる
- ・外出先:本山町:町内への移動が約7割 :大豊町:町内への移動が約5割、高知市への移動が約2割
:土佐町:町内への移動が約7割 :大川村:村内への移動が約4割、土佐町への移動が約3割
- ・路線バスの満足度:「乗りたい時間」、「バスからの乗り継ぎ」、「始発・最終バスの時間」に対する不満が高い
- ・鉄道の満足度:鉄道に対する不満はバスより高く、「乗りたい時間」、「特急列車の本数停車駅数」、「普通列車の本数」、「鉄道からの乗り継ぎ」に対する不満が高い
- ・公共交通を利用しない理由:「運転ができる」のほか、「運行本数が少ない」、「駅やバス停が遠い」の割合が高い
- ・公共交通サービス:約9割は公共交通サービスの存続を望み、「運行本数が減るのは仕方ない」が約6割
- ・公共交通が難しくなった場合の移動手段:「自分で運転」(約3割)、「家族や友人の送迎」(約3割)
大豊町:「家族や友人の送迎」(約5割)、
大川村:「地域ボランティアや福祉の送迎」(約4割)
- ・公共交通の維持のための負担:行政による負担が4割、町村民が利用を増やすが3割(本山町:約4割)
- ・公共交通に求めること:「乗りたい時間帯の運行」、「路線の設定」に関する要望が多い

【若年層の保護者アンケート】

- ・子供と同居している割合:全体の約7割(本山町:約5割、大豊町:約9割、土佐町:約6割、大川村:なし)
- ・通学先:嶺北地域内(約3割)、地域外(約7割)(本山町:約7割、大豊町:10割、土佐町:約5割、大川村:10割)
- ・交通手段:地域内の通学は、徒歩・自転車のみ(約7割)または送迎(約3割)が主、地域外は、JR(約8割)が主
晴天時徒歩・自転車で移動する人が雨天時は、「家族の送迎」で移動
- ・送迎の頻度:地域内外ともに約8割以上が、週に1回以上利用、約7割の保護者は負担に感じている
- ・公共交通への不満:地域外に通学させている保護者の方の不満が多い
「運行本数」「乗りたい時間に運行」、「移動時間」への不満が多い
- ・下宿している理由:下宿している学生のうち、約5割は自宅からも通学が可能と回答
本山町(約4割)、大豊町(約7割)、土佐町(約5割)が、通学が可能と回答
- ・公共交通を利用して通学しない理由:「移動時間」、「乗りたい時間帯に運行」に不満が多い

【来訪者アンケート】

- ・来訪者属性:関東、近畿からの利用が多く、2回目以上の訪問者が多い(約6割)
- ・地域内の移動手段:レンタカーの利用が多く、鉄道、路線バスの利用も1～2割見られる
- ・公共交通に対する不満:「運行本数」に対する不満が高い
見直すべき点については、1日のバス運行本数を重視する人が最多
- ・大杉駅に停車する特急列車を増便:約4割が利用したいと回答
- ・大豊バスストップを利用した高知市との移動:約5割が利用したいと回答

【乗降調査】

【とさでん田井線】

- ・平日:高齢者の利用が中心、大杉駅⇄領石出張所間の乗降は少数。
嶺北地域から医大病院への利用は1～2名程度
- ・休日:平日に比べ、75歳以上の利用者が少ない。遊びで利用している若年層がみられる
- ・田井線を使わない場合、約3割が「家族の送迎」を利用と回答

【嶺北観光自動車】

- ・平日:小中学生の通学を中心とした利用、田井⇄石原、大川局前⇄田井、大川局前⇄黒丸は、高齢者の利用も少数程度みられる
- ・休日:平日に比べ利用者が少ない・利用者がゼロの便も少なからず存在する

【市町村アンケート】

- ・全4町村で、公共交通に関する行政は**兼任担当者1名**で対応
- ・自治体内の交通資源に対しては、「**事業者の人員不足**」、「**利用者への情報提供**」、「**利用者の減少・伸び悩み**」、「**車両のバリアフリー対応**」が課題と考えられている

【事業者ヒアリング】

【とさでん交通】

- ・田井線は長大路線であり、**運転手の拘束時間が長くなる**のが課題
- ・**運転手が不足**していることが課題

【嶺北観光自動車】

- ・利用者は**小中学生が多い**
- ・便数を増やしてほしいとの要望はあるが、**実態としてはそこまで利用者はいない**
- ・バス路線まで離れた箇所に居住している人もいるため、**バス路線までの移動手段の検討**が必要

【タクシー事業者】

- ・**運転手が不足**していることが課題

【地域別意見交換会】

- ・買い物: 本山町: 町内や土佐町(末広・サンシャイン)への**車での移動が中心**
大豊町: 町内への**車での移動**、町北部は**三好市方面**、町南部は**高知市方面**への移動がみられる
土佐町: 町内への**車での移動**が主(末広・サンシャイン)、**高知市方面**への移動や**移動販売の活用**もみられる
大川村: 土佐町への**車での移動**のほか、**西条方面**への移動がみられる
- ・通院: 本山町: 嶺北中央病院、早明浦病院へ**車や路線バスで移動**、整形外科等の専門科は**地域外へ車で移動**
大豊町: 大杉中央病院へ**車や乗合タクシーで移動**、町南部は**田井線やJRを利用して地域外へ**
土佐町: 嶺北中央病院、早明浦病院、整形外科等の専門科へ**車や路線バスで移動**
大川村: 嶺北中央病院、早明浦病院、小松診療所へ**車で移動**
- ・地域内交通への要望: 本山町: 幹線までの移動手段、**福祉バス・タクシーの手続きの簡素化**
大豊町: **乗合タクシーの周知・運行サービスの改善**、観光資源との連携、最寄駅までの移動
土佐町: **田井営業所までのきめ細やかな移動手段**、**幹線までの移動手段確保**、**福祉バス・タクシー申請の簡略化**
大川村: 自家用有償旅客運送の導入、**幹線までの移動手段確保**(スクールバス活用、コミュニティバス導入(平成30年に試験運行予定))
- ・地域間交通への要望: 本山町: **大杉駅(可能なら医大・領石)までの路線バス運行**、**大豊BSの駐車場整備**
大豊町: 鉄道乗継、**特急同士の通過待ち時間の有効活用(大田口駅)**、**大杉駅の駐車場整備**
土佐町: **田井営業所を拠点とした地域外へのスムーズな乗継環境の整備**
大川村: **大川局前を拠点とした乗継強化**

【高校生意見交換会(嶺北高校)】

- ・通学手段: **自転車または送迎が主**、バスの利用者はごく少数
- ・利用しない理由: バス路線、バス停の位置等**バスの情報が不足**
- ・バスに対する要望: **バスの情報が簡単に調べられる**、**下校時間(部活を含む)にあわせた運行**、**学割等の導入**

【団体別意見交換会】

【社会福祉協議会】

- ・**自宅からバス停まで行けない**のが地域の最大の課題、拠点まで行ける人が増えればバスを利用できる人も増える
- ・交通弱者(学生や高齢者)に対する、**公共交通の利用促進に向けた支援は可能**である
- ・車に乗れなくなる人に、いかにして**公共交通の利点を示していくか**が**重要**になる

【商工会】

- ・商工会で宅配サービスを実施しており、利用者も多い
- ・高齢者は**自宅から駅やバス停まで行けない**、**パークアンドライド用の駐車場整備**などは必要ではないか

【観光協会】

- ・**自家用車を持たない観光客の移動方法等の問い合わせに対応**している
- ・観光地や観光施設への**鉄道、バス、タクシー等**を乗り継いでいけるような**対策**を検討することも必要

6. 嶺北地域の課題や要望

前章までに整理した嶺北地域の現状分析の結果を踏まえ、嶺北地域の公共交通が抱える課題として以下が挙げられる。

6.1 嶺北地域内を円滑に移動する手段が“不足”

公共交通の主な利用者である高齢者は、買い物や通院等が主な外出の目的となっているものの、主には自家用車を利用しており、公共交通を利用しない理由として、「まだ、運転ができる」という回答が最も多かったが、次いで「運行本数が少ない」、「駅やバス停までが遠い」との課題が指摘された。

高校生との意見交換会では、公共交通の主な利用者である高校生の移動のニーズにあわせた運行がされておらず、運賃も高校生にとっては高額であるとの意見がみられた。そのため、地域の唯一の高校である嶺北高校までの通学にバスが利用されておらず、地域内の通学者の約8割、地域外の9割強は、週に1回以上家族が送迎を行っており、送迎をする家族にとっては負担となっている。

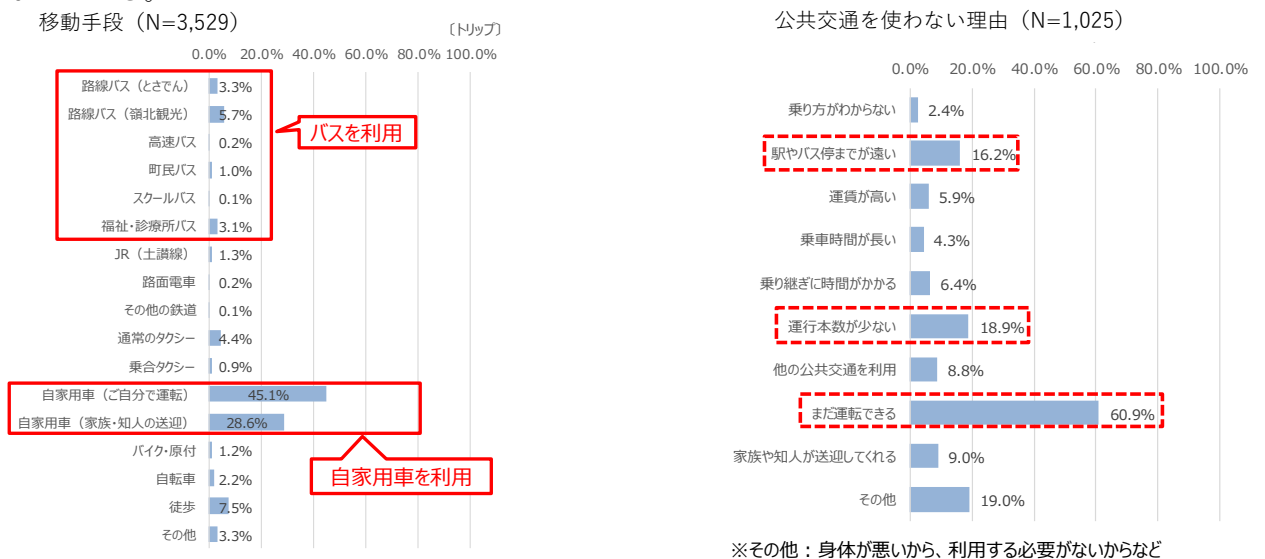


図 6-1 高齢者の移動手段

図 6-2 公共交通を利用しない理由 (高齢者)

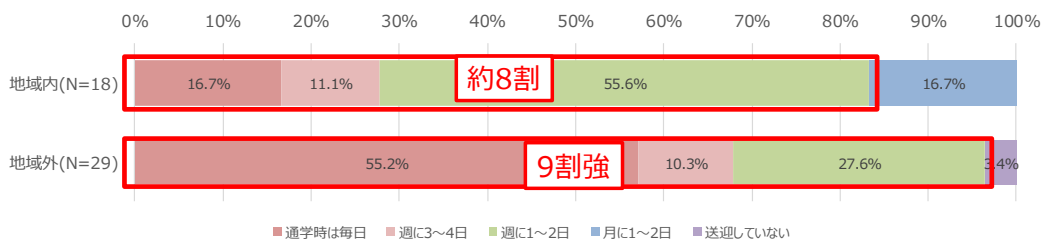


図 6-3 自宅からの送迎の頻度 (高校生)

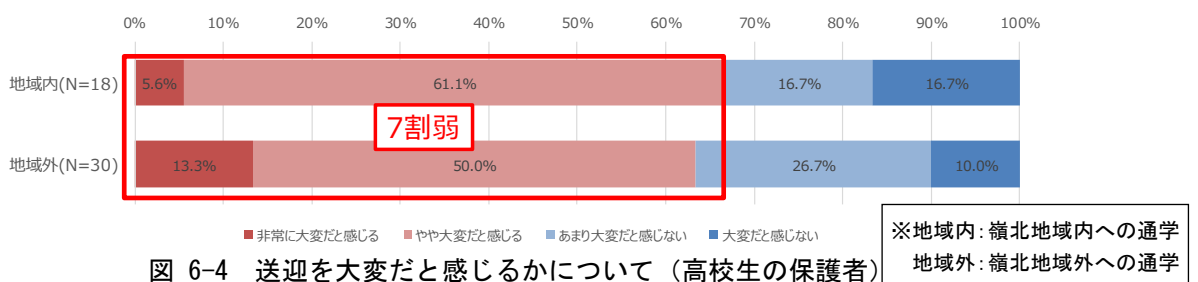


図 6-4 送迎を大変だと感じるかについて (高校生の保護者)

6.2 嶺北地域から高知方面への利用者のニーズに即した移動手段が“不足”

嶺北地域から高知方面への移動手段としては、JR土讃線及びとさでん交通の田井線があるものの、JR土讃線については、「乗りたい時間帯の運行」、「普通列車・特急列車の運行本数」、「他の交通手段との乗継」等の課題、路線バスについても「乗りたい時間帯の運行」等の課題が高齢者から指摘された。

一方で高齢者の運転に対する自信を確認したところ、約4割からは高知市内等の「長距離の運転等には自信がない」との回答が得られた。

田井線については、事業者からは運転手の拘束時間が長くなることが課題として指摘されている。

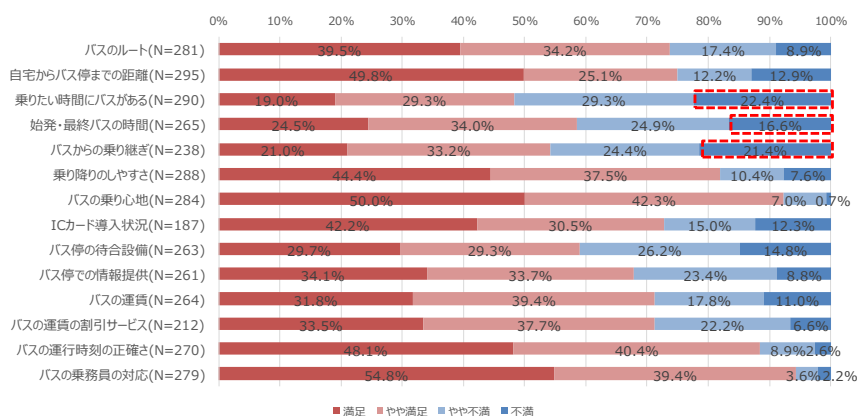


図 6-5 路線バスに対する満足度（高齢者）

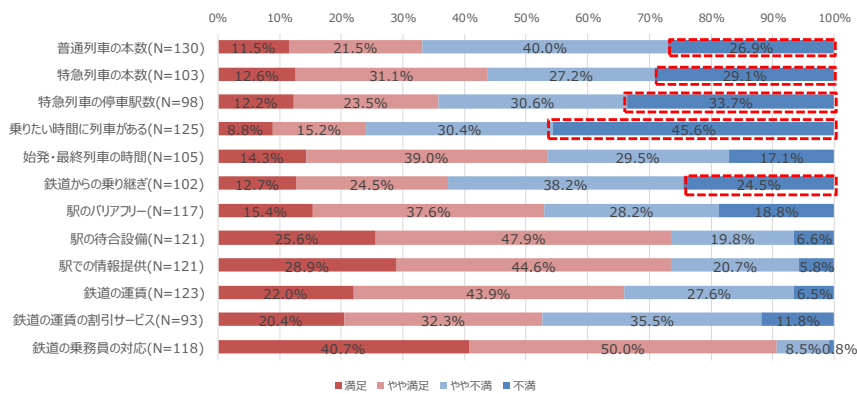


図 6-6 鉄道に対する満足度（高齢者）

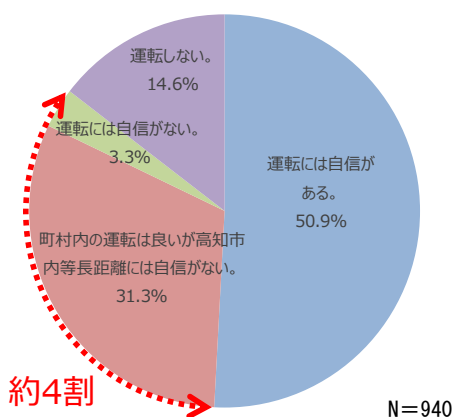


図 6-7 運転に対する自信（全体）

6.3 公共交通サービスに関する情報提供が“不足”

各町村での意見交換会において、高齢者の移動を支援するための公共交通利用の助成制度が設けられているものの、制度自体を知らないとの意見があった。

高校生との意見交換会においては、「バス停がどこにあるのか分からない」、「どこがバス路線かがわからない」などのバスに関する情報が不足していることも指摘された。

運賃についても、地域内での移動でも高額（例：田井から大杉駅間に乗車した場合、片道 800 円）であるとの意見があった。

団体別の意見交換会においても自宅から駅、バス停まで行けない高齢者が多いために、公共交通が利用できないのではないかと指摘があった。

公共交通に関する課題

- ・**本山町**: 路線バスの運賃が高い、バスと鉄道の乗継が悪い、福祉バス・タクシー等の制度の周知不足
- ・**大豊町**: 普通列車の場合、行き違いのための退避待ち等で時間がかかる。特急の場合、停車する遠方の駅(大杉駅)まで送迎が必要
- ・**土佐町**: 福祉バス・タクシー等の制度の申請が面倒
- ・**大川村**: 路線バスまでの移動手段がない、スクールバスへの混乗ができていない
- ・**路線バス**: 「乗りたい時間帯の運行」に対する不満が多い
- ・**鉄道**: 「乗りたい時間帯の運行」、「普通・特急列車の運行本数」、「特急列車の停車駅数」、「他の交通手段との乗り継ぎ」に対する不満が高い
- ・**交通事業者**: 運転手の不足

要望(地域内交通)

- ・幹線(のバス停、駅)までの移動手段確保
- ・乗合タクシーの周知、福祉バス・タクシー申請の簡略化
- ・観光資源との連携
- ・バス情報の簡単な入手
- ・下校時間(帰宅部、部活終わり)に合わせた運行
- ・運賃を安くしてほしい

要望(広域交通)

- ・田井～大杉駅(可能なら医大・領石)までの路線バス運行
- ・大豊 BS や JR 大杉駅の駐車場整備
- ・JR 大杉駅での特急列車の増便
- ・田井出張所、大川局前の乗継強化
- ・大豊 BS から高知市内への移動

図 6-8 嶺北地域の課題と要望まとめ

7. 計画の基本方針と計画目標

嶺北地域の課題を踏まえて、公共交通網形成計画の基本方針と計画目標を示す。

7.1 基本方針

嶺北地域の課題を踏まえて、計画の基本方針は次の3つとする。

基本方針1

嶺北地域内で自家用車に頼らずに暮らしていけるための公共交通手段を整えます

- ・嶺北地域内の移動について、バス、タクシー等の既存の公共交通手段を活用し、地域内で自家用車に過度に頼らなくても暮らし続けていくことができるための公共交通網を形成します。

基本方針2

嶺北地域外と便利に行き来できるように幹線及び乗り継ぎ拠点の整備を行います

- ・嶺北地域外との移動について、鉄道、バス、高速バス等の既存の公共交通手段を活用し、便利に行き来できるように、地域外との移動を担う幹線の設定、異なる交通機関間の乗り継ぎの強化及び乗り継ぎ拠点の整備を行います。

基本方針3

公共交通の利用を促進し、持続可能な公共交通を目指します

- ・嶺北地域の住民が、公共交通がおかれている厳しい実情を理解し、そして、公共交通を守り育てていくための取組みをどのように実施・推進していくのかを考えてもらうきっかけをつくり、地域が一体となって、将来にわたって持続可能な公共交通の実現を目指していきます。

7.2 計画目標

基本方針に基づき、嶺北地域の公共交通に関する課題を解決するための「㊦、㊧、㊨、㊩」の4つの計画目標を定める。



計画目標1 連携した交通手段による嶺北地域内の公共交通ネットワークの形成

- ・バスの利用実態を踏まえた主要路線の設定及び乗り継ぎ拠点の整備
- ・主要路線及び乗り継ぎ拠点までの交通手段の構築
- ・自宅から地域内の病院・商業施設・学校等へ公共交通を利用して移動ができる環境の実現を目指したタクシー等の交通手段を含めた公共交通ネットワークの形成等



計画目標2 移動のしやすさを目指した嶺北地域外との公共交通体系の整備

- ・地域外との交通手段となる鉄道、バス、高速バスの既存の公共交通を活用した移動速達性の確保
- ・地域外との乗り継ぎ拠点(JR大杉駅や嶺北観光自動車(田井)、大豊バスストップ)での異なる交通機関間(バス、鉄道、クルマ)の乗り継ぎ強化等



計画目標3 誇りと愛着のある公共交通となるための取組みの推進

- ・公共交通に関するわかりやすい情報提供の実施
(ホームページ作成、バス停名の見直し、観光との連携等)
- ・高齢者や児童・生徒との公共交通利用促進策の実施
(バス乗り方教室、公共交通マップ作成等)等



計画目標4 暮らしを支える公共交通の利用環境の整備

- ・嶺北地域の住民(特に高齢者や児童・生徒)が利用しやすいサービスの導入
- ・主要な乗継拠点における待合環境の整備
- ・快適な移動環境の提供等

7.2.1 連携した交通手段による嶺北地域内の公共交通ネットワークの形成

嶺北地域内の幹線となる公共交通として、嶺北観光自動車の運行する路線バスがあるが、主な利用者である高齢者及び高校生のニーズにあったダイヤでは運行されていない。

また、中山間地域である嶺北地域では、自宅からバス停までの移動の大変さも指摘されており、今後、各自治体において、コミュニティバスの運行などが予定されている。

そこで、地域内の病院・商業施設・学校等へ公共交通を利用して移動することができる環境を目指し、連携した交通手段による嶺北地域内の公共交通ネットワークの形成を図る。

7.2.2 移動のしやすさを目指した嶺北地域外との公共交通体系の整備

嶺北地域からは通院、買い物、通学など様々な目的で高知都市圏までの移動がみられる。

現在はとさでん交通田井線とJR土讃線の2つの移動手段があるが、いずれも利用率が低く、住民からは運行本数に対する不満があげられている。

また、高齢者の約4割は地域外での運転に自信がないと回答しており、地域外への移動手段を確保する必要がある。

そこで、嶺北地域と高知都市圏の公共交通について、JR土讃線や乗り合いタクシーを活用しつつ、高速バスの利用可能性についても検討を行い、持続可能な公共交通体系の整備を行う。

7.2.3 誇りと愛着のある公共交通となるための取組みの推進

嶺北地域の公共交通に関する情報は、「アクセスこうち（※）」で確認することができるものの、地域としてのバス路線図などがなく、また、現地のバス停における情報提供等も不足していることから、分かりにくくなっている。

嶺北地域の高齢者との意見交換会でも、バス路線についての分かりにくさが指摘されている。そこで、高齢者や児童・生徒と公共交通の利用促進のためのワークショップ等を行うことによって、誇りと愛着のある公共交通となるための取組みを推進する。

7.2.4 暮らしを支える公共交通利用環境の整備

嶺北地域の唯一の高校である嶺北高校には現在、日々の通学で、公共交通を利用している生徒がいない。

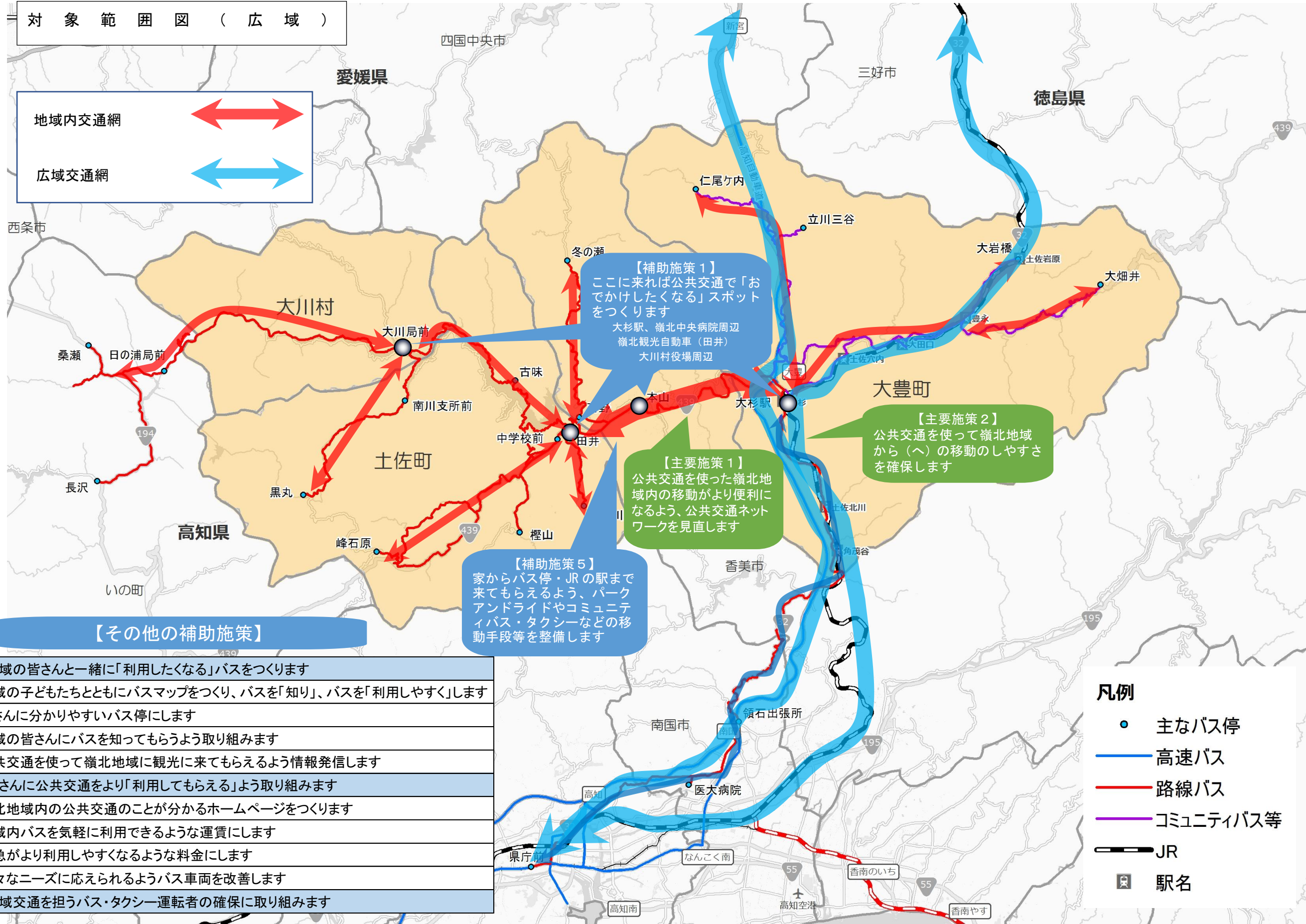
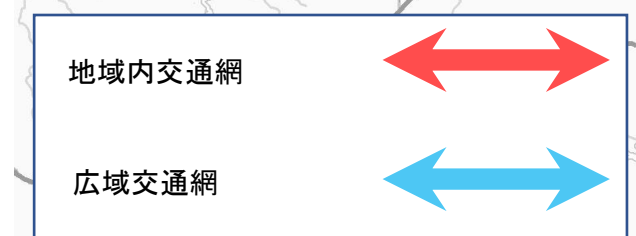
高齢者は福祉バス・タクシー制度等があるものの、制度を知らない等の意見がみられた。

そこで、高齢者や高校生などが利用しやすくするための待合環境の整備やサービスの導入検討を行う。

※「アクセスこうち」とは

県内の公共交通利用の利便性向上を図ることを目的として、目的地までのルート、乗換方法、料金、時刻などの検索ができるWebサービスとして平成21年度（2011年度）に県が開発したもの。

対象範囲図（広域）



【補助施策1】
 ここにあれば公共交通で「おでかけしたくなる」スポットをつくります
 大杉駅、嶺北中央病院周辺
 嶺北観光自動車（田井）
 大川村役場周辺

【主要施策1】
 公共交通を使った嶺北地域内の移動がより便利になるよう、公共交通ネットワークを見直します

【主要施策2】
 公共交通を使って嶺北地域から（へ）の移動のしやすさを確保します

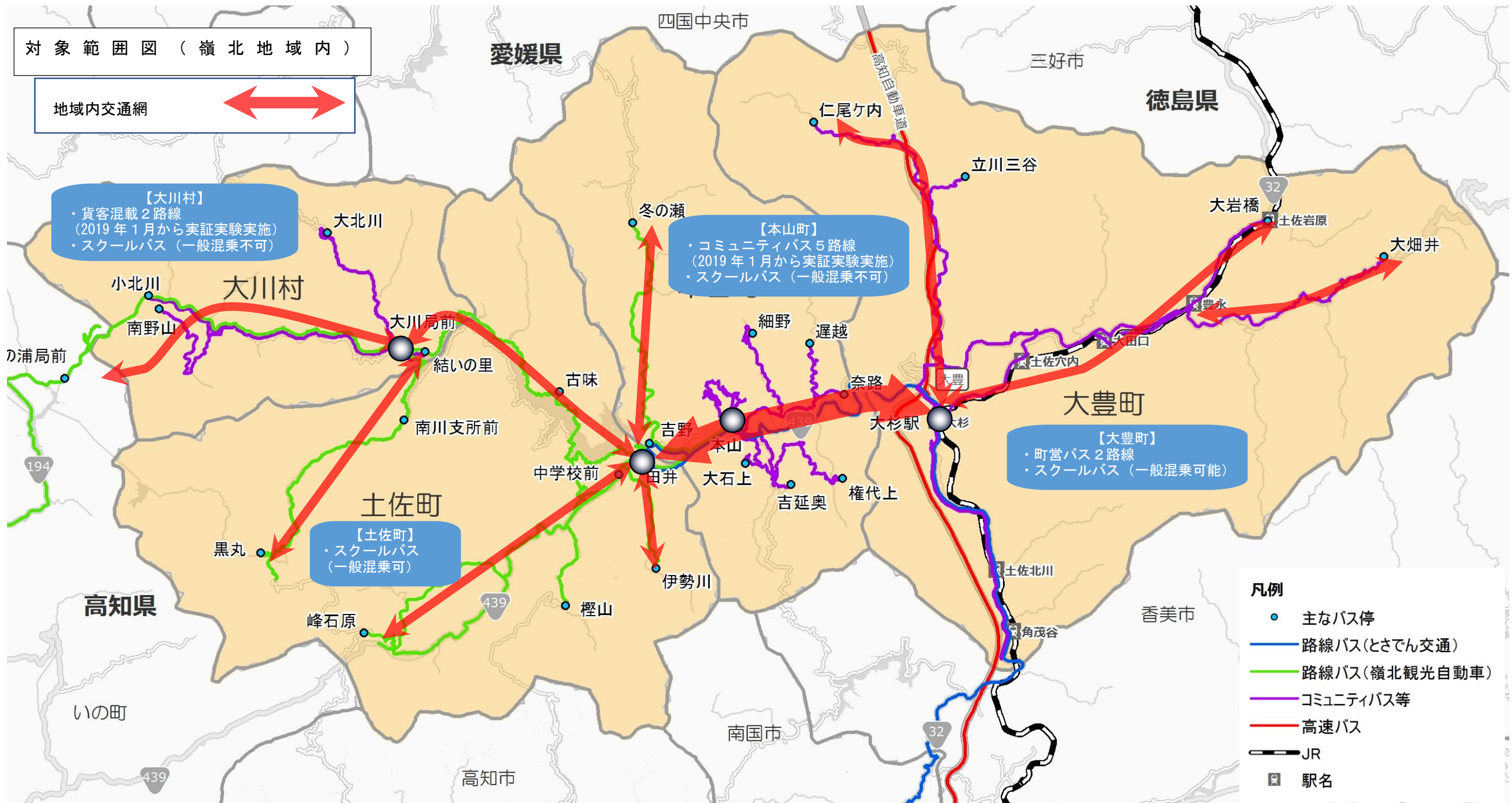
【補助施策5】
 家からバス停・JRの駅まで来てもらえるよう、パークアンドライドやコミュニティバス・タクシーなどの移動手段等を整備します

【その他の補助施策】

2. 地域の皆さんと一緒に「利用したくなる」バスをつくります
 - 地域の子どもたちとともにバスマップをつくり、バスを「知り」、バスを「利用しやすく」します
 - 皆さんに分かりやすいバス停にします
 - 地域の皆さんにバスを知ってもらうよう取り組みます
 - 公共交通を使って嶺北地域に観光に来てもらえるよう情報発信します
3. 皆さんに公共交通をより「利用してもらえる」よう取り組みます
 - 嶺北地域内の公共交通のことが分かるホームページをつくります
 - 地域内バスを気軽に利用できるような運賃にします
 - 特急がより利用しやすくなるような料金にします
 - 様々なニーズに応えられるようバス車両を改善します
4. 地域交通を担うバス・タクシー運転者の確保に取り組みます

凡例

- 主なバス停
- 高速バス
- 路線バス
- コミュニティバス等
- JR
- 駅名



8. 実施事業

4つの計画目標に基づき、下表に示す個別施策を実施する。各施策については、予定する実施期間において各実施主体が主体的に推進するものとする。

計画目標	計画目標を達成するための主要施策	実施主体	実施期間
れ んげいした交通手段による嶺北地域内の公共交通ネットワークの形成 ・バスの利用実態を踏まえた主要路線の設定及び乗り継ぎ拠点の整備 ・主要路線及び乗り継ぎ拠点までの交通手段の構築 ・自宅から地域内の病院・商業施設・学校等へ公共交通を利用して移動ができる環境の実現を目指したタクシー等の交通手段を含めた公共交通ネットワークの形成 等	1. 公共交通を使った嶺北地域内の移動がより便利になるよう、公共交通ネットワークを見直します	高知県、各町村、バス事業者 タクシー事業者	長期
	2. 公共交通を使って嶺北地域から(へ)の移動のしやすさを確保します		
	大杉駅に停車する特急列車の本数を増やし、併せて路線バスを接続する社会実験を行います	高知県、各町村、鉄道事業者 バス事業者	長期
い どうのしやすさを目指した嶺北地域外との公共交通体系の整備 ・地域外との交通手段となる鉄道、バス、高速バスの既存の公共交通を活用した移動速達性の確保 ・地域外との乗り継ぎ拠点(JR大杉駅や嶺北観光自動車(田井)、大豊バスストップ)での異なる交通機関間(バス、鉄道、クルマ)の乗り継ぎ強化 等	大豊バスストップで高知から(へ)の高速バスを乗り降りできる社会実験を行います	高知県、各町村、バス事業者	短期
	主要施策を支える補助施策		
	1. ここに来れば公共交通で「おでかけしたくなる」スポットをつくります	高知県、各町村、施設管理者	短期
ほ こりと愛着のある公共交通となるための取組みの推進 ・公共交通に関するわかりやすい情報提供の実施(ホームページ作成、バス停名の見直し、観光との連携 等) ・高齢者や児童・生徒との公共交通利用促進策の実施(バス乗り方教室、公共交通マップ作成 等) 等	2. 地域の皆さんと一緒に「利用したくなる」バスをつくります		
	地域の子どもたちとともにバスマップをつくり、バスを「知り」、バスを「利用しやすく」します	高知県、各町村、バス事業者、嶺北地域内の児童・生徒	短期
	皆さんに分かりやすいバス停にします	高知県、各町村、バス事業者、社会福祉協議会、嶺北地域内の児童・生徒	短期
	地域の皆さんにバスを知ってもらうよう取り組みます	高知県、各町村、バス事業者、社会福祉協議会	長期
	公共交通を使って嶺北地域に観光に来てもらえるよう情報発信します	高知県、各町村、公共交通事業者、観光協会	短期
	3. 皆さんに公共交通をより「利用してもらえる」よう取り組みます		
	嶺北地域内の公共交通のことが分かるホームページをつくります	高知県、各町村、公共交通事業者、観光協会	短期
地域内バスを気軽に利用できるような運賃にします	高知県、各町村、バス事業者	長期	
特急がより利用しやすくなるような料金にします	高知県、各町村、鉄道事業者	長期	
様々なニーズに応えられるようバス車両を改善します	高知県、各町村、バス事業者	長期	
く らしを支える公共交通利用環境の整備 ・嶺北地域の住民(特に高齢者や児童・生徒)が利用しやすいサービスの導入 ・主要な乗継拠点における待合環境の整備 ・快適な移動環境の提供 等	4. 地域交通を担うバス・タクシー運転者の確保に取り組みます		
	5. 家からバス停・JRの駅まで来てもらえるよう、パークアンドライドやコミュニティバス・タクシーなどの移動手段等を整備します	高知県、各町村、施設管理者	長期

※計画期間5年間において、短期：計画策定後1～3年以内を実施するもの、長期：計画策定後5年以内を目標に実施するもの

実施事業の全体のスケジュールを示す。

計画目標を達成するための主要施策	実施主体	実施期間	平成 31 年度 (2019 年度)		平成 32 年度 (2020 年度)		平成 33 年度 (2021 年度)		平成 34 年度 (2022 年度)		平成 35 年度 (2023 年度)	
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
1. 公共交通を使った嶺北地域内の移動がより便利になるよう、公共交通ネットワークを見直します	高知県、各町村、バス事業者 タクシー事業者	長期										
2. 公共交通を使って嶺北地域から(へ)の移動のしやすさを確保します												
大杉駅に停車する特急列車の本数を増やし、併せて路線バスを接続する社会実験を行います	高知県、各町村、鉄道事業者 バス事業者	長期										
大豊バスストップで高知から(へ)の高速バスを乗り降りできる社会実験を行います	高知県、各町村、バス事業者	短期										

主要施策を支える補助施策	実施主体	実施期間	2019 年度		2020 年度		2021 年度		2022 年度		2023 年度	
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
1. ここに来れば公共交通で「おでかけしたくなる」スポットをつくります	高知県、各町村、施設管理者	短期										
2. 地域の皆さんと一緒に「利用したくなる」バスをつくります												
地域の子どもたちとともにバスマップをつくり、バスを「知り」、バスを「利用しやすく」します	高知県、各町村、バス事業者、 嶺北地域内の児童・生徒	短期										
皆さんに分かりやすいバス停にします	高知県、各町村、バス事業者、 社会福祉協議会、嶺北地域内の児童・生徒	短期										
地域の皆さんにバスを知ってもらうよう取り組みます	高知県、各町村、バス事業者、 社会福祉協議会	長期										
公共交通を使って嶺北地域に観光に来てもらえるよう情報発信します	高知県、各町村、公共交通事業者、 観光協会	短期										
3. 皆さんに公共交通をより「利用してもらえる」よう取り組みます												
嶺北地域内の公共交通のことが分かるホームページをつくります	高知県、各町村、公共交通事業者、 観光協会	短期										
地域内バスを気軽に利用できるような運賃にします	高知県、各町村、バス事業者	長期										
特急がより利用しやすくなるような料金にします	高知県、各町村、鉄道事業者	長期										
様々なニーズに応えられるようバス車両を改善します	高知県、各町村、バス事業者	長期										
4. 地域交通を担うバス・タクシー運転者の確保に取り組みます	高知県、各町村、バス事業者	長期										
5. 家からバス停・JR の駅まで来てもらえるよう、パークアンドライドやコミュニティバス・タクシーなどの移動手段等を整備します	高知県、各町村、施設管理者	長期										

事業の実施主体の各団体名を示す。

表 8-1 実施主体の団体名

実施主体	団体名
高知県	高知県
各町村	本山町、大豊町、土佐町、大川村
バス事業者	とさでん交通株式会社 有限会社嶺北観光自動車
鉄道事業者	四国旅客鉄道株式会社
タクシー事業者	有限会社大杉ハイヤー 豊永観光有限会社 有限会社大豊ハイヤー 嶺北交通有限会社
公共交通事業者	とさでん交通株式会社 有限会社嶺北観光自動車 四国旅客鉄道株式会社 有限会社大杉ハイヤー 豊永観光有限会社 有限会社大豊ハイヤー 嶺北交通有限会社
社会福祉協議会	(社福) 本山町社会福祉協議会 (社福) 大豊町社会福祉協議会 (社福) 土佐町社会福祉協議会 (社福) 大川村社会福祉協議会
観光協会	本山町観光協会 大豊町観光開発協会 土佐さめうら観光協会

8.1 計画目標を達成するための主要施策

8.1.1 公共交通を使った嶺北地域内の移動がより便利になるよう、公共交通ネットワークを見直します

施策名	公共交通を使った嶺北地域内の移動がより便利になるよう、公共交通ネットワークを見直します																																																	
概要	<p>嶺北地域内では嶺北観光自動車及びとさでん交通の路線バス平日・休日の運行本数が概ね同程度で運行されている。しかしながら、平日においては高校の部活動終了時には運行されていない、最終列車との接続が取られていないなどの課題があり、休日においては利用者のいない区間もみられる。</p> <p>嶺北地域と高知都市圏を結ぶ田井線は片道約 110 分の長大路線であり、運行する交通事業者においては、運転手の確保が困難になっており、長大路線の維持が難しくなっている。田井線の利用の実態として、主に高知市内への高齢者の移動手段として利用されているものの、その利用頻度は低い。</p> <p>こうした移動実態やニーズを踏まえて、本計画及び各町村の公共交通政策に基づき、嶺北地域内の移動の利便性の向上を目指したバス路線の再構築を行う。再構築にあたっては、嶺北地域内の主要な交通結節点である嶺北観光自動車(田井)、嶺北中央病院周辺、大杉駅、大川村役場周辺等において、各自治体が運行している、または運行を予定しているコミュニティバスや町営バスと路線バスとの接続や、福祉タクシーの活用等に利用実態に合わせた適切な移動手段も検討する。</p>																																																	
実施主体	高知県、各町村、バス事業者、タクシー事業者	実施期間	長期																																															
対象路線	<p>【とさでん交通】 田井線</p> <p>【嶺北観光自動車】 田井～峰石原線、田井～伊勢川線、田井～日の浦線、田井～檜山線 田井～冬の瀬線、田井～黒丸線</p> <p>【大豊町】 町営バス</p> <p>【大川村】 コミュニティバス※平成 31 年 1 月より実証実験、4 月より本格運用予定</p> <p>【本山町】 コミュニティバス※平成 31 年 1 月より実証実験、10 月より本格運用予定</p>																																																	
スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">H31 (2019) 年度</th> <th colspan="2">H32 (2020) 年度</th> <th colspan="2">H33 (2021) 年度</th> <th colspan="2">H34 (2022) 年度</th> <th colspan="2">H35 (2023) 年度</th> </tr> <tr> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="10" style="text-align: center;"> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・路線の検討 ・運行手段の検討 </td> <td colspan="4" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・再構築の準備・実施 ・効果検証 </td> <td colspan="4" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・検証結果を踏まえた路線の再構築 (利用実態に合わせた適切な移動手段の検討) </td> </tr> </tbody> </table>										H31 (2019) 年度		H32 (2020) 年度		H33 (2021) 年度		H34 (2022) 年度		H35 (2023) 年度		上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期											・路線の検討 ・運行手段の検討		・再構築の準備・実施 ・効果検証				・検証結果を踏まえた路線の再構築 (利用実態に合わせた適切な移動手段の検討)			
H31 (2019) 年度		H32 (2020) 年度		H33 (2021) 年度		H34 (2022) 年度		H35 (2023) 年度																																										
上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期																																									
・路線の検討 ・運行手段の検討		・再構築の準備・実施 ・効果検証				・検証結果を踏まえた路線の再構築 (利用実態に合わせた適切な移動手段の検討)																																												

8.1.2 公共交通を使って嶺北地域から(へ)の移動のしやすさを確保します

1) 大杉駅に停車する特急列車の本数を増やし、併せて路線バスを接続する社会実験を行います

施策名	大杉駅に停車する特急列車の本数を増やし、併せて路線バスを接続する社会実験を行います									
概要	<p>土讃線で運行されている特急は上り方向 16 便、下り方向 16 便となっている。そのうち、JR 大杉駅に停車するのは上り方向 9 便、下り方向 9 便と約半数となっている。</p> <p>大杉駅で停車する特急列車の増便及びバス路線との連携を行う社会実験を実施することにより、JR 大杉駅の利便性向上及び高知都市圏との移動速達性の向上の効果を検証する。</p>									
実施主体	高知県、各町村、鉄道事業者、バス事業者					実施期間		長期		
対象箇所	【JR 四国】 JR 大杉駅									
スケジュール	H31 (2019) 年度		H32 (2020) 年度		H33 (2021) 年度		H34 (2022) 年度		H35 (2023) 年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
			<ul style="list-style-type: none"> ・社会実験の準備・実施 ・実験結果の検証 		<ul style="list-style-type: none"> ・検証結果を踏まえた本格運用 					

2) 大豊バスストップで高知から(へ)の高速バスを乗り降りできる社会実験を行います

施策名	大豊バスストップで高知から(へ)の高速バスを乗り降りできる社会実験を行います									
概要	<p>大豊町にある大豊バスストップは、上り方面(高松・岡山方面)の乗車及び下り方面(高知方面)の降車にしか利用することができない。</p> <p>そこで、高知都市圏との移動の速達性を向上させるために、大豊バスストップでの上り方面の降車及び下り方面の乗車を可能とするための社会実験を行い、本格化に向けた検証を行う。</p>									
実施主体	高知県、各町村、バス事業者					実施期間		短期		
対象路線	<p>【とさでん交通・JR 四国バス】 高知～岡山(上り 2 本 下り 3 本)</p> <p>【とさでん交通・JR 四国バス・四国高速バス】 高知～高松(上り 3 本 下り 4 本)</p> <p>【とさでん交通・阪急高速バス】 高知～大阪(上り 3 本 下り 3 本)</p> <p>【とさでん交通】 高知～京都・名古屋(上り 1 本 下り 1 本)</p>									
スケジュール	H31 (2019) 年度		H32 (2020) 年度		H33 (2021) 年度		H34 (2022) 年度		H35 (2023) 年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
			<ul style="list-style-type: none"> ・社会実験の準備・実施 ・実験結果の検証 		<ul style="list-style-type: none"> ・検証結果を踏まえた本格運用 					

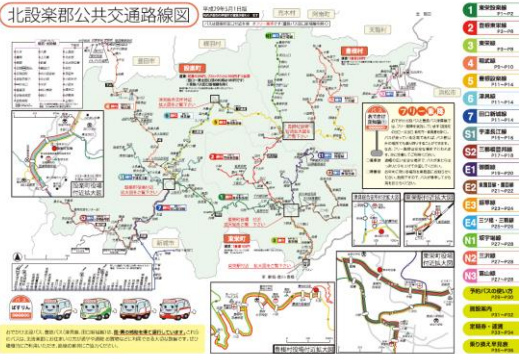
8.2 主要事業を支える補助施策

8.2.1 ここに来れば公共交通で「おでかけしたくなる」スポットをつくります
















施策名	ここに来れば公共交通で「おでかけしたくなる」スポットをつくります																																																			
概要	<p>鉄道と路線バス、路線バスと路線バス、路線バスとコミュニティバス等の乗継が想定される箇所において、30分以上の待合が発生する箇所があるにもかかわらず、簡易な待合スペースのみしか整備されていない箇所もある。</p> <p>こうした現状に対し、公共交通の利用環境改善のため、各町村や施設管理者と連携し、数箇所です長時間滞在できる、または乗継箇所自体が目的地となるような「おでかけスポット（仮称）」の整備を行う。</p> <p>【例】待合施設へのWi-Fi環境や充電環境の整備</p> <p>待合施設で図書館の本が貸し借りできるサービスの導入</p> <p>行政手続き窓口の併設</p> <p>商業施設や病院等へのバス路線の乗入れ</p> <p>など</p>																																																			
実施主体	高知県、各町村、施設管理者						実施期間	短期																																												
対象交通結節点等	<p>【本山町】：嶺北中央病院周辺</p> <p>【大豊町】：大杉駅周辺</p> <p>【土佐町】：嶺北観光自動車（田井）</p> <p>【大川村】：大川村役場周辺</p>																																																			
参考資料																																																				
	病院へのバスの乗入れ （あき総合病院）					商業施設とバス停の併設 （後免町）																																														
スケジュール	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">H31 (2019) 年度</th> <th colspan="2">H32 (2020) 年度</th> <th colspan="2">H33 (2021) 年度</th> <th colspan="2">H34 (2022) 年度</th> <th colspan="2">H35 (2023) 年度</th> </tr> <tr> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">→</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">→</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">→</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">→</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">→</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・対象施設箇所の検討 ・導入サービスの検討 ・費用負担方法の検討 </td> <td colspan="4" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・既存施設でのサービス実施 </td> <td colspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・新たな施設の整備 </td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>										H31 (2019) 年度		H32 (2020) 年度		H33 (2021) 年度		H34 (2022) 年度		H35 (2023) 年度		上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	→		→		→		→		→		・対象施設箇所の検討 ・導入サービスの検討 ・費用負担方法の検討				・既存施設でのサービス実施				・新たな施設の整備			
H31 (2019) 年度		H32 (2020) 年度		H33 (2021) 年度		H34 (2022) 年度		H35 (2023) 年度																																												
上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期																																											
→		→		→		→		→																																												
・対象施設箇所の検討 ・導入サービスの検討 ・費用負担方法の検討				・既存施設でのサービス実施				・新たな施設の整備																																												

8.2.2 地域の皆さんと一緒に「利用したくなる」バスをつくります

1) 地域の子どもたちとともにバスマップをつくり、バスを「知り」、バスを「利用しやすく」します

<p>施策名</p>	<p>地域の子どもたちとともにバスマップをつくり、バスを「知り」、バスを「利用しやすく」します</p>									
<p>概要</p>	<p>嶺北地域内の路線図は事業者や町村ごとに個別に作成されているが、地域全体の公共交通を網羅的に整理した路線図は作成されておらず、乗り継ぎ利用時などに情報の確認が難しい。 そこで、嶺北地域内の公共交通を網羅的に整理した路線図を嶺北地域内の児童・生徒と一緒に作成することで、児童・生徒の路線バスについての認知度を向上させるとともに、地域住民の利便性を向上させる。</p>									
<p>実施主体</p>	<p>高知県、各町村、バス事業者、嶺北地域内の児童・生徒</p>	<p>実施期間</p>	<p>短期</p>							
<p>対象路線</p>	<p>【JR四国】 土讃線 【とさでん交通】 田井線 【嶺北観光自動車】 田井～峰石原線、田井～伊勢川線、田井～日の浦線、田井～檜山線 田井～冬の瀬線、田井～黒丸線 【大豊町】 町営バス 【大川村】 コミュニティバス※平成31年1月より実証実験、4月より本格運用予定 【本山町】 コミュニティバス※平成31年1月より実証実験、10月より本格運用予定</p>									
<p>参考資料</p>	 <p>地域のバスを網羅的に記載したマップの例 (出典：北設楽郡公共交通活性化協議会)</p>									
<p>スケジュール</p>	<p>H31 (2019) 年度 上期</p>	<p>H31 (2019) 年度 下期</p>	<p>H32 (2020) 年度 上期</p>	<p>H32 (2020) 年度 下期</p>	<p>H33 (2021) 年度 上期</p>	<p>H33 (2021) 年度 下期</p>	<p>H34 (2022) 年度 上期</p>	<p>H34 (2022) 年度 下期</p>	<p>H35 (2023) 年度 上期</p>	<p>H35 (2023) 年度 下期</p>
<p>スケジュールの視覚化: - H31(2019)年度上期: バスマップの検討 (青い矢印) - H32(2020)年度下期: バスマップの作成 (青い矢印) - H33(2021)年度下期: バスマップの更新確認 (年1回程度) (青い矢印) - H34(2022)年度下期: バスマップの更新確認 (年1回程度) (青い矢印) - H35(2023)年度下期: バスマップの更新確認 (年1回程度) (青い矢印)</p>										

2) 皆さんに分かりやすいバス停にします

施策名	皆さんに分かりやすいバス停にします																																																	
概要	<p>嶺北地域内のバス停は、老朽化により、普段バスを利用していない人にとってバス停と認識できないとの意見がある他、名称も、既に移設してしまった施設あるいは、名称が変更された施設等の名称がそのまま用いられているなど、実態に即していない箇所もある。</p> <p>そこで、地域内で共通したバス停デザインや、地域内のバス路線図の掲示、利用者にとって実態に即したわかりやすい名称を検討することにより、バス停の認識度の向上や利便性の向上を図る。</p>																																																	
実施主体	高知県、各町村、バス事業者、 社会福祉協議会、嶺北地域内の児童・生徒	実施期間	短期																																															
対象路線	<p>【嶺北観光自動車】</p> <p>田井～峰石原線、田井～伊勢川線、田井～日の浦線、田井～檜山線 田井～冬の瀬線、田井～黒丸線</p>																																																	
スケジュール	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">H31 (2019) 年度</th> <th colspan="2">H32 (2020) 年度</th> <th colspan="2">H33 (2021) 年度</th> <th colspan="2">H34 (2022) 年度</th> <th colspan="2">H35 (2023) 年度</th> </tr> <tr> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">  </td> <td colspan="2" style="text-align: center;">  </td> <td colspan="2" style="text-align: center;">  </td> <td colspan="2" style="text-align: center;">  </td> <td colspan="2" style="text-align: center;">  </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・対象箇所の整理 ・見直し内容の検討 </div> </td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2" style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・バス停の見直し (適宜更新) </div> </td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>※必要な箇所を段階的に実施</p>										H31 (2019) 年度		H32 (2020) 年度		H33 (2021) 年度		H34 (2022) 年度		H35 (2023) 年度		上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期											<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・対象箇所の整理 ・見直し内容の検討 </div>				<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・バス停の見直し (適宜更新) </div>					
H31 (2019) 年度		H32 (2020) 年度		H33 (2021) 年度		H34 (2022) 年度		H35 (2023) 年度																																										
上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期																																									
																																																		
<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・対象箇所の整理 ・見直し内容の検討 </div>				<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・バス停の見直し (適宜更新) </div>																																														

3) 地域の皆さんにバスを知ってもらうよう取り組みます

施策名	地域の皆さんにバスを知ってもらうよう取り組みます																																																	
概要	高校生との意見交換会において、自宅の周辺のどこをバスが通っているかが分からないなどの意見がみられた。 高齢者については、自家用車での移動が中心であるため、バス路線等についてあまり理解されていないことが想定される。 そこで、バスの認知度を高めるために乗り方教室などの出前授業を開催するなど（例：9月20日バスの日など）、地域でのバスについての理解度を向上させる。																																																	
実施主体	高知県、各町村、バス事業者 社会福祉協議会	実施期間	長期																																															
参考資料	<div style="text-align: center;"> <p>マーケティング戦略 取組事例⑥</p> <p>「出前授業」の継続実施。MMは、地道な活動ですが今後のマーケティング戦略の柱です</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 高知県内の小学校を対象に、環境問題と公共交通について理解を深めてもらうことを目的として「出前授業」を実施しました </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> NPO高知市民会議交通まちづくり部会と共催で、教材と映像を用いた視覚的にもわかりやすい授業を行いました </div>  <p>とさでん交通株式会社 13</p> <p>バスに関するイベント（出前授業）の例 出典：とさでん交通ホームページ</p> </div>																																																	
スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">H31 (2019) 年度</th> <th colspan="2">H32 (2020) 年度</th> <th colspan="2">H33 (2021) 年度</th> <th colspan="2">H34 (2022) 年度</th> <th colspan="2">H35 (2023) 年度</th> </tr> <tr> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">→</td> <td colspan="2">→</td> <td colspan="2">→</td> <td colspan="2">→</td> <td colspan="2">→</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・イベント企画 </td> <td colspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・イベント実施 (秋期を想定) </td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>										H31 (2019) 年度		H32 (2020) 年度		H33 (2021) 年度		H34 (2022) 年度		H35 (2023) 年度		上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	→		→		→		→		→		・イベント企画		・イベント実施 (秋期を想定)							
H31 (2019) 年度		H32 (2020) 年度		H33 (2021) 年度		H34 (2022) 年度		H35 (2023) 年度																																										
上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期																																									
→		→		→		→		→																																										
・イベント企画		・イベント実施 (秋期を想定)																																																

4) 公共交通を使って嶺北地域に観光に来てもらえるよう情報発信します

施策名	公共交通を使って嶺北地域に観光に来てもらえるよう情報発信します																																							
概要	<p>嶺北地域に訪れたいと思っただけの観光客を増やしていくため、主要な交通結節点などで、観光情報や公共交通に関する情報提供を行い、公共交通の利用を促進する。また、観光協会のHPなどでもバス情報を把握できるようにする。</p> <p>（嶺北4町村を会場として2019年7月7日から12月25日まで「アウトドア」「生活文化」「食」をテーマとした地域博覧会「土佐れいほく博」の開催が予定されている。</p>																																							
実施主体	高知県、各町村、公共交通事業者、観光協会	実施期間	短期																																					
対象路線	<p>【JR四国】 土讃線</p> <p>【とさでん交通】 田井線</p> <p>【嶺北観光自動車】 田井～峰石原線、田井～伊勢川線、田井～日の浦線、田井～檜山線 田井～冬の瀬線、田井～黒丸線</p>																																							
スケジュール	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">H31 (2019) 年度</th> <th colspan="2">H32 (2020) 年度</th> <th colspan="2">H33 (2021) 年度</th> <th colspan="2">H34 (2022) 年度</th> <th colspan="2">H35 (2023) 年度</th> </tr> <tr> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="10" style="text-align: center;"> </td> </tr> </tbody> </table>										H31 (2019) 年度		H32 (2020) 年度		H33 (2021) 年度		H34 (2022) 年度		H35 (2023) 年度		上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期										
H31 (2019) 年度		H32 (2020) 年度		H33 (2021) 年度		H34 (2022) 年度		H35 (2023) 年度																																
上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期																															

8.2.3 皆さんに公共交通をより「利用してもらえ」よう取り組みます

1) 嶺北地域内の公共交通のことが分かるホームページをつくります

施策名	嶺北地域内の公共交通のことが分かるホームページをつくります		
概要	嶺北地域内の公共交通に関する情報提供は、とさでん交通、JR四国等の個別の情報提供及び「アクセスこうち」での嶺北観光自動車の情報提供のみとなっている。 嶺北地域内の公共交通に関する情報を一元的に管理・提供するポータルサイトを構築することにより、地域内外の利用者の利便性の向上を図る。		
実施主体	高知県、各町村、公共交通事業者、観光協会	実施期間	短期

参考資料



地域で共通の公共交通ポータルサイトの例
 左：トップページ 右 路線図等の情報提供
 (出典：北設楽郡公共交通活性化協議会)

スケジュール

H31 (2019) 年度		H32 (2020) 年度		H33 (2021) 年度		H34 (2022) 年度		H35 (2023) 年度	
上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
・ホームページの検討		・ホームページの構築		・ホームページの運用					

2) 地域内バスを気軽に利用できるような運賃にします

施策名	地域内バスを気軽に利用できるような運賃にします																																																					
概要	「地域内を移動するための路線バスの運賃は高額なため、気軽に利用できない」との意見が高校生との意見交換会や高校生の保護者アンケートでもみられる。 嶺北地域内の移動についての運賃の上限を設定するなどし、従来よりも安価に路線バスを利用できるようにすることで、利用者の増加を目指す。 また、高校生については通学定期の補助制度等についても併せて検討を行う。																																																					
実施主体	高知県、各町村、バス事業者	実施期間	長期																																																			
対象路線	【嶺北観光自動車】 田井～峰石原線、田井～伊勢川線、田井～日の浦線、田井～檜山線 田井～冬の瀬線、田井～黒丸線																																																					
参考資料	<div style="text-align: center;"> <p>公共交通に対する不満（地域内：N=8）</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>不満項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>路線（行き先）表示がわからない</td><td>12.5%</td></tr> <tr><td>発着時刻がわからない</td><td>12.5%</td></tr> <tr><td>バスの乗り方（降り方）がわからない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>行きたい方向にバス路線がない</td><td>12.5%</td></tr> <tr><td>駅・バス停（乗り場）が遠い</td><td>12.5%</td></tr> <tr><td>移動に時間がかかる</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>毎日運行されていない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>運行本数が少ない</td><td>25.0%</td></tr> <tr><td>始発便が遅い</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>最終便が早い</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>鉄道等とバスの接続が悪い</td><td>12.5%</td></tr> <tr><td>乗りたい時間に運行されていない</td><td>25.0%</td></tr> <tr><td>乗り降り（行き）</td><td>0.0%</td></tr> <tr style="border: 2px solid red;"><td>運賃が高い</td><td>25.0%</td></tr> <tr><td>定期代が高い</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>時間通りにこない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>現金での支払いが不便</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>乗り場に屋根やベンチがない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>乗り心地が悪い</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>混雑している・座れない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>25.0%</td></tr> </tbody> </table> <p>公共交通に対する不満 （若年層の保護者アンケートより）</p> </div>										不満項目	割合	路線（行き先）表示がわからない	12.5%	発着時刻がわからない	12.5%	バスの乗り方（降り方）がわからない	0.0%	行きたい方向にバス路線がない	12.5%	駅・バス停（乗り場）が遠い	12.5%	移動に時間がかかる	0.0%	毎日運行されていない	0.0%	運行本数が少ない	25.0%	始発便が遅い	0.0%	最終便が早い	0.0%	鉄道等とバスの接続が悪い	12.5%	乗りたい時間に運行されていない	25.0%	乗り降り（行き）	0.0%	運賃が高い	25.0%	定期代が高い	0.0%	時間通りにこない	0.0%	現金での支払いが不便	0.0%	乗り場に屋根やベンチがない	0.0%	乗り心地が悪い	0.0%	混雑している・座れない	0.0%	その他	25.0%
不満項目	割合																																																					
路線（行き先）表示がわからない	12.5%																																																					
発着時刻がわからない	12.5%																																																					
バスの乗り方（降り方）がわからない	0.0%																																																					
行きたい方向にバス路線がない	12.5%																																																					
駅・バス停（乗り場）が遠い	12.5%																																																					
移動に時間がかかる	0.0%																																																					
毎日運行されていない	0.0%																																																					
運行本数が少ない	25.0%																																																					
始発便が遅い	0.0%																																																					
最終便が早い	0.0%																																																					
鉄道等とバスの接続が悪い	12.5%																																																					
乗りたい時間に運行されていない	25.0%																																																					
乗り降り（行き）	0.0%																																																					
運賃が高い	25.0%																																																					
定期代が高い	0.0%																																																					
時間通りにこない	0.0%																																																					
現金での支払いが不便	0.0%																																																					
乗り場に屋根やベンチがない	0.0%																																																					
乗り心地が悪い	0.0%																																																					
混雑している・座れない	0.0%																																																					
その他	25.0%																																																					
スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">H31 (2019) 年度</th> <th colspan="2">H32 (2020) 年度</th> <th colspan="2">H33 (2021) 年度</th> <th colspan="2">H34 (2022) 年度</th> <th colspan="2">H35 (2023) 年度</th> </tr> <tr> <th>上期</th><th>下期</th> <th>上期</th><th>下期</th> <th>上期</th><th>下期</th> <th>上期</th><th>下期</th> <th>上期</th><th>下期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" style="border: 1px solid blue;"> ・運賃上限の検討 ・費用負担方法の検討 </td> <td colspan="4" style="border: 1px solid blue;"> ・運賃の上限設定の準備・実施 ・効果検証 </td> <td colspan="4" style="border: 1px solid blue;"> ・検証結果を踏まえた本格導入 </td> </tr> </tbody> </table>										H31 (2019) 年度		H32 (2020) 年度		H33 (2021) 年度		H34 (2022) 年度		H35 (2023) 年度		上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	・運賃上限の検討 ・費用負担方法の検討				・運賃の上限設定の準備・実施 ・効果検証				・検証結果を踏まえた本格導入															
H31 (2019) 年度		H32 (2020) 年度		H33 (2021) 年度		H34 (2022) 年度		H35 (2023) 年度																																														
上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期																																													
・運賃上限の検討 ・費用負担方法の検討				・運賃の上限設定の準備・実施 ・効果検証				・検証結果を踏まえた本格導入																																														

3) 特急がより利用しやすくなるような料金にします

施策名	特急がより利用しやすくなるような料金にします																																	
概要	大杉駅には1日上り16本、下り16本の列車が停車している。その内、特急列車が9本、普通列車が7本となっており半数以上が特急列車となっているため、鉄道により地域外に移動するには費用の負担が大きい。 そこで、特急料金の補助等を行うことにより、列車の利用率を向上させることで鉄道の維持を図る。																																	
実施主体	高知県、各町村、鉄道事業者	実施期間	長期																															
対象路線	<p>【JR四国】 土讃線（大杉～高知間）</p>  <p>大杉駅 時刻表 出典：JR四国ホームページ</p>																																	
スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">H31 (2019) 年度</th> <th colspan="2">H32 (2020) 年度</th> <th colspan="2">H33 (2021) 年度</th> <th colspan="2">H34 (2022) 年度</th> <th colspan="2">H35 (2023) 年度</th> </tr> <tr> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> 割引内容の検討 費用負担方法の検討 </td> <td colspan="4" rowspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> 運賃割引等の準備・試行 効果検証 </td> <td colspan="4"> <ul style="list-style-type: none"> 検証結果を踏まえた本格導入 </td> </tr> </tbody> </table>				H31 (2019) 年度		H32 (2020) 年度		H33 (2021) 年度		H34 (2022) 年度		H35 (2023) 年度		上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	<ul style="list-style-type: none"> 割引内容の検討 費用負担方法の検討 		<ul style="list-style-type: none"> 運賃割引等の準備・試行 効果検証 				<ul style="list-style-type: none"> 検証結果を踏まえた本格導入 			
H31 (2019) 年度		H32 (2020) 年度		H33 (2021) 年度		H34 (2022) 年度		H35 (2023) 年度																										
上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期																									
<ul style="list-style-type: none"> 割引内容の検討 費用負担方法の検討 		<ul style="list-style-type: none"> 運賃割引等の準備・試行 効果検証 				<ul style="list-style-type: none"> 検証結果を踏まえた本格導入 																												

4) 様々なニーズに応えられるようバス車両を改善します

施策名	様々なニーズに応えられるようバス車両を改善します																																																	
概要	現行車両の老朽化と公共交通に対する需要の変化に対応するため、車両の更新時期などにあわせて、バス車両の環境改善を推進する。 【改善の例】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸送人数に合わせた車両の小型化 ・ 貨客混載用の荷物スペースの設置 ・ 自転車持ち込みへの対応 ・ 低床車両の導入 ・ フリーw i f iの導入 ・ スマートフォン充電用の電源の整備 ・ ハイバックシートの導入 など																																																	
実施主体	高知県、各町村、バス事業者					実施期間	長期																																											
対象路線	【嶺北観光自動車】 田井～峰石原線、田井～伊勢川線、田井～日の浦線、田井～檜山線 田井～冬の瀬線、田井～黒丸線 【とさでん交通】 田井線																																																	
参考資料	 <p>積載のイメージ（施工前写真であり実際とは異なる場合がある。2座席分を使用予定） ・ボックスの大きさ：高さ600・奥行600・幅800mm ・実証実験に向けて車両改造・固定措置を行う。</p> 貨客混載のボックス設置例 出典：豊田市ホームページより					 ハイバックシートの導入例 出典：広島電鉄ホームページより																																												
スケジュール	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">H31 (2019) 年度</th> <th colspan="2">H32 (2020) 年度</th> <th colspan="2">H33 (2021) 年度</th> <th colspan="2">H34 (2022) 年度</th> <th colspan="2">H35 (2023) 年度</th> </tr> <tr> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="10" style="text-align: center;">  </td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="border: 1px solid black;"> ・改善内容の検討 ・費用負担方法の検討 </td> <td colspan="6" style="border: 1px solid black;"> ・車両の更新（老朽化に合わせて随時） </td> </tr> </tbody> </table>										H31 (2019) 年度		H32 (2020) 年度		H33 (2021) 年度		H34 (2022) 年度		H35 (2023) 年度		上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期											・改善内容の検討 ・費用負担方法の検討				・車両の更新（老朽化に合わせて随時）					
H31 (2019) 年度		H32 (2020) 年度		H33 (2021) 年度		H34 (2022) 年度		H35 (2023) 年度																																										
上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期																																									
																																																		
・改善内容の検討 ・費用負担方法の検討				・車両の更新（老朽化に合わせて随時）																																														

8.2.4 地域交通を担うバス・タクシー運転者の確保に取り組みます

施策名	地域交通を担うバス・タクシー運転者の確保に取り組みます		
概要	少子高齢化により労働力人口が減少する中、高知県においても既存のバス路線を維持していくための、バスやタクシー運転者の安定的な確保はより一層困難となっている。持続的に路線バスを運行するために、戦略的なリクルート（若年層や女性などに向けた広報）、運行者の養成支援（大型2種免許の取得支援）等の支援を行う。		
実施主体	高知県、各町村、公共交通事業者	実施期間	長期

参考資料


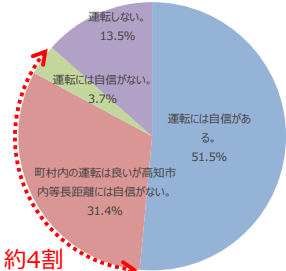









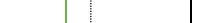
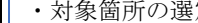




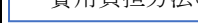













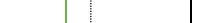
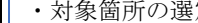




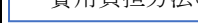













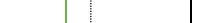
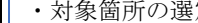




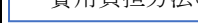






女性向けの運転手の仕事紹介

出典：高知県ホームページより

	H31 (2019) 年度		H32 (2020) 年度		H33 (2021) 年度		H34 (2022) 年度		H35 (2023) 年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
スケジュール										
	・人材確保の強化方法の検討		・人材確保の強化の実施		・人材確保の強化見直し		・見直しを踏まえた人材確保の強化の実施			

8.2.5 家からバス停・JRの駅まで来てもらえるよう、パークアンドライドやコミュニティバス・タクシーなどの移動手段等を整備します

施策名	家からバス停・JRの駅まで来てもらえるよう、パークアンドライドやコミュニティバス・タクシーなどの移動手段等を整備します																																																																
概要	高齢者へのアンケート結果から日常的に運転をされる方でも、地域内の運転は良いが地域外の運転は自信がないという方がみられた。 住民意見交換会においても、バス停までのアクセスが大変という意見や、駅の駐車場の台数が少なく駐車ができないという意見も聞かれた。 そこで、路線バスやJR駅周辺などの地域の幹線や交通結節点等への駐車場や駐輪場の整備を進めることで、「自宅から拠点駐車場まではマイカーで、そこからは公共交通で」という新しいライフスタイルを提案し、パークアンドライドの定着に向けた広報を行う。 また、幹線までの移動を支援するために、コミュニティバスやタクシーの活用についての検討を行う。																																																																
実施主体	高知県、各町村、施設管理者	実施期間	長期																																																														
対象交通結節点等	【嶺北観光自動車】 田井～峰石原線、田井～伊勢川線、田井～日の浦線、田井～檜山線 田井～冬の瀬線、田井～黒丸線 【とさでん交通】 田井線 【JR四国】 大杉駅など 【高速バス】 大豊BS																																																																
参考資料		バス停と駐輪場の整備例 (高松市川島本町) 出典：ことでんバスホームページより 運転に対する自信 (N=845)  約4割 高齢者の運転にする自信 出典：高齢者アンケートより																																																															
スケジュール	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:10%;">H31 (2019) 年度</th> <th style="width:10%;">H32 (2020) 年度</th> <th style="width:10%;">H33 (2021) 年度</th> <th style="width:10%;">H34 (2022) 年度</th> <th style="width:10%;">H35 (2023) 年度</th> </tr> <tr> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> <th>上期</th> <th>下期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align:center;">  </td> <td colspan="2" style="text-align:center;">  </td> <td colspan="2" style="text-align:center;">  </td> <td colspan="2" style="text-align:center;">  </td> <td colspan="2" style="text-align:center;">  </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align:center;">  </td> <td colspan="2" style="text-align:center;">  </td> <td colspan="2" style="text-align:center;">  </td> <td colspan="2" style="text-align:center;">  </td> <td colspan="2" style="text-align:center;">  </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align:center;">  </td> <td colspan="2" style="text-align:center;">  </td> <td colspan="2" style="text-align:center;">  </td> <td colspan="2" style="text-align:center;">  </td> <td colspan="2" style="text-align:center;">  </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align:center;">  </td> <td colspan="2" style="text-align:center;">  </td> <td colspan="2" style="text-align:center;">  </td> <td colspan="2" style="text-align:center;">  </td> <td colspan="2" style="text-align:center;">  </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※必要な箇所を段階的に整備</p>										H31 (2019) 年度	H32 (2020) 年度	H33 (2021) 年度	H34 (2022) 年度	H35 (2023) 年度	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期																																								
H31 (2019) 年度	H32 (2020) 年度	H33 (2021) 年度	H34 (2022) 年度	H35 (2023) 年度																																																													
上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期																																																								
																																																																	
																																																																	
																																																																	
																																																																	

9. 計画の達成状況の評価

9.1 計画目標と評価指標の設定

計画の達成状況を評価する指標として、地域としての指標と各町村の指標を設定する。

表 9-1 計画の評価方法

計画目標	評価指標の考え方	指標の内容	現状	目標値 (H36(2023年)3月時点)	備考(指標数値の出典)
連携した交通手段による 嶺北地域内の 公共交通ネットワークの形成	嶺北地域内の幹線である田井～大杉駅間が 便利になったことを評価するために田井～大杉 駅間での路線バス利用者数での評価を行う。	乗降調査による田井～大杉駅間の平日の路 線バスの1日の利用者数(乗降調査より)	田井～大杉間の平日利用者 72人/日	現状以上	現状は平成30年度田井線 乗降調査結果より
	各町村の公共交通に関する取組み状況につい て評価を行う。	各町村における地域公共交通会議の実施な どによる、町村内の公共交通ネットワーク形成 状況	〈本山町〉コミュニティバス5路線実証運行 〈大豊町〉町民バス、乗合タクシー運行 〈土佐町〉事業者において運行 〈大川村〉貨客混載2路線実証運行	住民ニーズに合わせた適切な運 行の実施	—
移動のしやすさを目指した 嶺北地域外との 公共交通体系の整備	公共交通機関を利用した嶺北地域外への移 動がしやすくなったことを評価するために、鉄道及び 路線バスの定期利用での評価を行う。	JR 大杉駅で定期券を利用して乗車した1日 の平均人数(公共交通事業者より提供)	59名/日	現状以上	現状は平成29年度の1日平 均定期利用乗車数
		路線バスの田井～大杉間での定期券購入者 の実人数(公共交通事業者より提供)	2名	現状以上	現状は平成30年度上期の定 期購入者の実人数
	公共交通機関を利用した嶺北地域外への移 動がしやすくなったことを評価するために、路線バ スと鉄道の乗換拠点である大杉駅(大杉駅前 含む。)への利用者数での評価を行う。	路線バスによる大杉駅(大杉駅前含む。)へ の利用者数	〈乗車者数〉 平日8名(7名)、休日4名(2名) 〈降車者数〉 平日6名(4名)、休日7名(5名) ※カッコ内は、大杉駅のみ乗降者数	現状以上	現状は平成30年度田井線 乗降調査結果より
誇りと愛着のある 公共交通となるための 取組みの推進	公共交通の周知の取組みとして、バスの乗り方 教室・職業体験などの実施状況及び参加者の 満足度での評価を行う。	公共交通の周知の取組みの実績を把握する ために、バスの乗り方教室の開催回数	—	1回/年以上	—
		公共交通の周知の取組みの実績を把握する ために、バスの乗り方教室の参加者の満足度	—	満足度80%以上	満足度は【満足、やや満足、や や不満、不満】の4段階でアン ケート調査し【満足、やや満 足】と回答した割合とする
暮らしを支える 公共交通利用環境の整備	公共交通利用環境の整備の取組み状況を把 握するために、本計画において整備するおでかけ スポット(仮称)の整備箇所数を指標とする。	おでかけスポット(仮称)の整備箇所数	—	4箇所以上	各町村1箇所以上
	公共交通の主な利用者である高校生の利用 率の向上について、嶺北高校の生徒のうち、バ ス通学の生徒の割合を評価する。	高知県立高等学校学校概要に記載されてい る嶺北高校の生徒の通学方法から、バスを利 用している割合を算出	0%	10%以上	平成30年度の保護者アンケ ートにおいて、嶺北高校の生徒 (20名)の保護者のうち、毎 日送迎しており、送迎を大変だ と感じている人(2名)の割 合(10%)を目標値として設定

9.2 PDCA サイクルによる計画の継続的な改善

目標を達成するためには、計画的に実施項目を進めることが重要である。そのために、継続的に取組を実施していく（Do）と同時に、その取組結果を詳細に把握・評価し（Check）、課題が見つければさらに見直しを検討・調整し（Action）、新たな取組の計画を立案する（Plan）という「PDCA」のサイクルに基づいて、達成状況を評価する。このサイクルを継続的に行うことにより、持続可能な公共交通網の再構築を実現することができる。

本計画の実施にあたっては、各実施項目の実施主体として定めた機関が主体となって実施項目を推進するとともに、住民、交通事業者、行政などで構成する「高知県嶺北地域公共交通協議会」の総会・幹事会を開催し、計画の進捗を管理する。総会は、各年度の実施項目進捗評価の報告（評価指標に対する実施状況の確認等）、次年度の事業計画案の議論を実施するため、毎年9月～12月頃に開催するほか、必要に応じて開催するものとする。

	H31年度 (2019年度)		H32年度 (2020年度)		H33年度 (2021年度)		H34年度 (2022年度)		H35年度 (2023年度)	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
Plan : 計画 地域公共交通網 形成計画	計画策定		必要に応じて見直し							
	次年度の準備 (予算要求等)		次年度の準備 (予算要求等)		次年度の準備 (予算要求等)		次年度の準備 (予算要求等)			
Do : 実行 実施項目の実施	実施項目実施		実施項目実施		実施項目実施		実施項目実施		実施項目実施	
Check : 評価 計画や実施項目の 評価	計画進捗 状況確認		計画進捗 状況確認		計画進捗 状況確認		計画進捗 状況確認		最終評価	
Action : 見直し 計画や実施項目の 見直し・改善	見直し・ 改善		見直し・ 改善		見直し・ 改善		見直し・ 改善		見直し・ 改善	

巻末資料

高知県嶺北地域公共交通協議会 委員名簿

区分	団体名	役職	氏名	備考
学識経験者	徳島大学大学院	教授（工学博士）	近藤 光男	第2回協議会まで
	名古屋大学大学院	教授（工学博士）	加藤 博和	
	高知工科大学	講師（工学博士）	西内 裕晶	
国	国土交通省四国運輸局交通政策部	交通企画課長	小川 剛史	第2回協議会まで
			柴山 和広	第3回協議会から
市町村	本山町	副町長	松岡 寛	
	大豊町	副町長	好永 公一	
	土佐町	副町長	高橋 昭雄	
	大川村	副村長	明坂 健喜	
公共交通事業者	（有）嶺北観光自動車	代表取締役	竹内 讓二	
	とさでん交通（株）	代表取締役	片岡 万知雄	
	四国旅客鉄道（株）	高知企画部長	田岡 弘久	
	（有）大杉ハイヤー	代表取締役	小川 洋子	
	豊永観光（有）	代表取締役	上池 章水	
	（有）大豊ハイヤー	代表取締役	上村 敏郎	
道路管理者	国土交通省四国地方整備局 土佐国道事務所	副所長（管理）	松崎 久記	
	高知県中央東土木事務所 本山事務所	所長	笹岡 吉市	
公安委員会	高知県高知東警察署	地域交通官	土居 照明	第1回協議会まで
			山下 和幸	第2回協議会から
利用者	本山町区長会	会長	山下 憲二	
	大豊町区長協議会	会長	川村 知水	
	土佐町地区長会	会長	窪内 康夫	第1回協議会まで
			和田 善明	第2回協議会から
	大川村部落自治会連合会	会長	岩崎 一仁	
教育機関	高知県立嶺北高等学校	教頭	谷口 博幸	
医療機関（病院）	本山町立国保嶺北中央病院	事務長心得	田岡 明	第1回協議会まで
		事務長	佐古田 敦子	第2回協議会から
	（医）十全会早明浦病院	事務局長	笹岡 忠幸	
社会福祉機関	（社福）本山町社会福祉協議会	会長	山北 修司	
	（社福）大豊町社会福祉協議会	事務局長	三谷 よし恵	第3回協議会まで
		会長	都築 康博	第4回協議会から
	（社福）土佐町社会福祉協議会	事務局長	山首 尚子	
	（社福）大川村社会福祉協議会	会長	岩崎 一仁	
商工機関	大豊町商工会	会長	小笠原 妙子	
	本山町商工会	会長	大石 哲雄	第2回協議会まで
			松葉 晶夫	第3回協議会から
	土佐地区商工会	会長	高橋 豊明	第2回協議会まで
			和田 光雄	第3回協議会から
観光機関	本山町観光協会	会長	上地 正人	第2回協議会まで
			森 圭	第3回協議会から
	大豊町観光開発協会	代表理事	上村 芳晴	
	土佐さめうら観光協会	理事長	重光 良一	
県	高知県中山間振興・交通部	副部長	中村 剛	
	高知県産業振興推進部	地域産業振興監 （嶺北地域担当）	豊永 大五	

計画策定経過の概要

年	月日	主な協議事項・実施事項
平成 30 年	2 月 22 日	第 1 回嶺北地域公共交通協議会 (1) 協議会設立の目的・ねらい (2) 地域公共交通維持・活性化について (3) 嶺北地域公共交通協議会設置要綱(案)について (4) 嶺北地域の公共交通の現状 (5) 今後のスケジュール
	5 月 25 日	第 2 回嶺北地域公共交通協議会 (1) 第 1 回嶺北地域公共交通協議会について (2) 高知県嶺北地域公共交通網形成計画策定について ア 網形成計画策定の進め方 イ 各種調査(住民アンケート等)について (3) 今後のスケジュール
	11 月 14 日	第 3 回嶺北地域公共交通協議会 (1) 第 2 回嶺北地域公共交通協議会について (2) 各種調査結果の報告 (3) 高知県嶺北地域公共交通網形成計画の基本方針と計画目標
平成 31 年	1 月 23 日	第 4 回嶺北地域公共交通協議会 ・高知県嶺北地域公共交通網形成計画(案)について
	2 月下旬 ～ 3 月中旬	パブリックコメントの実施 ・高知県嶺北地域公共交通網形成計画(案)に対する県民意見募集
	3 月 27 日	第 5 回嶺北地域公共交通協議会 ・高知県嶺北地域公共交通網形成計画の策定について ・次年度以降の事業検討について



**嶺北地域
公共交通協議会**